京城日報

朝刊と合せて十頁

定價 一ヶ月金五十錢 三ヶ月金壹圓四十五錢 六ヶ月金二圓九十錢 一ヶ年金五圓六十錢（郵税共）

廣告料 五號活字一行金七拾錢 一行二十五字詰

發行所 京城日報社 京城太平通一丁目

發行兼編輯人 印刷人

電話番號 振替貯金口座京城三〇〇番

○侵入目的

獨逸公報に曰く獨墺軍の大軍ドリナ、サーウ、多瑙の諸河畔陣地より塞國に侵入せりと。獨墺軍の目的はニッシュ及びソフィヤを經て君士坦丁堡に至る鐵道を占領するに在り又た約四十萬を算せらるゝ勃軍は塞國に侵入してサロニカ、ニッシュ鐵道を切斷す可しと豫期せらる（紐育電報）

○臺灣より獻上珍品

臺灣より九日朝門司入港の香港丸にて加來專賣局長は臺灣總督府より御大典に付獻上品の見本を携帯し居り安東總督に打合を爲す筈なるが其重なるは六百年の楠板長一丈幅七尺厚三寸一枚と四百五十年の楠板長一丈幅四尺五寸二枚何れも無比の珍木にて此れにて器具を製し獻上の筈其外砂糖五種、樟腦一種、茶三種、煙草三種の獻上品を携帯し居れり（門司特電）

東京發別電

○勝敗の決は此一擧

獨墺の大軍塞耳維に侵入せり勝敗の決は聯合軍のダーダネルス海峽占領如何によりて決すべく希臘の從屬內閣は全然中立維持を標榜して成立せり

○大元帥御發輦期

大元帥陛下には東奥の野に行はるべき秋季大機動演習御統監の爲め十八日東京御發輦演習地宮城縣下に行幸遊ばさるゝ事に御治定相成りたり

○大隈首相西下

大隈首相は九日朝京都に向け出發せり

○佛國我國募債

佛國は日佛銀行の手を經て我國にて募債するに決したり

○生糸騰貴す

生糸貿易稍活況を呈し八百五十五圓臺に騰貴せり

○株式界の表裏

株式界漸次疲勞の氣味にして鋭氣潑剌の觀あるは只表面の現象に過ぎず

○陸軍大飛行決行

天候漸く恢復し九日朝來秋晴一片の雲翳を留めず大演習參加飛行隊は愈々青森に向け出發大飛行を遂行するに決す

○連夜の大演說會

乃木家問題攻擊演說會連夜各所に開會頗る燃んなり

●會計獨立と特別收入

豫想外の朝鮮の開拓

無所屬代議士 金澤種次郎氏談

初め二三十人一緒に來る筈だつたのがだん〳〵數が減つて到頭十人になつてしまつた、最早や五年になつたのだが朝鮮が併合されると同時に一般社會は其爲めに餘程の經濟的恐慌があると思つてゐた現に吾々にしても其考が無いではなかつた是れは元吾々にしても一般社會にしても

▲朝鮮を知る事が鮮なかつたからなのだ其小さからぬ利權と思つてゐた朝鮮に對して一年九百萬圓と云ふものを支出しなければならぬと云ふ事は豫想に反した大事であつた總督府が五箇年以後に於て母國からの補充金を無くすと云ふ事が果して出來れば母國には非常な幸福であるに違ひない現に母國は戰時特別税さへも其儘に保存されてゐる樣な時だし尙昨年議會では陸軍二箇師團案も通過し更に來議會に於ては海軍充實案も通過すべき模樣がある事母國民が負擔に苦しめられてる事は輕少でない固より臺灣と朝鮮とは比較にならぬ臺灣は未墾地であり

▲處女林鬱蒼として繁つたまゝであつた其れを開墾し伐出す丈けの勞力は朝鮮の荒蕪數百年の瘦土開墾に比すれば收益の上から言つても比較にならないのは當然であると思つてゐたのに朝鮮が今日の開發には一方ならず吃驚させられた其れに總督府で色々財政計畫などの事を聞き特別收入の計畫などを知つて見ると五年後に於て朝鮮の會計を獨立させると云ふ計畫は決して無謀な事ではないと思はせられた然して其れが母國にとり鮮からぬ幸福を來す事になると思へば朝鮮をして僅々五箇年間に今日あらしめた總督政治に就て感謝しなければならぬ更に翻つて特別收入の事に就て考へるに

▲例へば紡績の如き木浦附近に於ける棉花を主として之に多少の補給を加へて朝鮮で紡績事業をやるとする朝鮮滿洲に對する母國との貿易關係を見るに綿糸布の輸移入は僅少でない若し之を朝鮮で紡績する事が出來るとすれば朝鮮人支那人は固より都合に據つては支那方面へ輸出が出來るかも知れない然し新しく事業を初めると云ふ事は仲々困難であるし其れに假令小資本の新會社が設立されたとしても母國からの大資本に壓倒されて到底好結果を見る事は難しからうと思ふ然し母國の大會社が製造工場を設けるとか支店を設けるとかしてやられ[illegible]ならないと思ふ予は歸京の上關係當局に其議を提案して見たいと思つてゐる單に紡績のみならず或は煉瓦の如きセメントの如き[illegible]の樣な形式で行けば可けない事は無いと思ふ

●兩殿下御歸京

閑院宮兩殿下には七日午後二時神戸御安著の處風浪激しき爲め御上陸遊ばされず八日午後五時三十分御上陸なく御退艦直に同六時三十分發列車にて御歸京の途に就かせられし趣

●隊署長會議（日割）

十三日より五日間京畿道警務部に於て管內隊署長會議開催は既報の通りにて警務部上級下士官高等警部參列し毎日午前八時より午後四時迄左の日割にて宣化堂に於て開會す

▲第一日 午前管內狀況報告（口頭）午後同上 ▲第二日 午前同上及び諮問事項答申 午後同前諮問事項答申 ▲第三日 午前質議希望事項 午後部外講話 ▲第四日 午前部外講話、指示注意事項 質議希望事項及訓示 ▲午後第五日 警察事務打合

●代議士招待會（晩餐）

山縣共進會事務總長は九日午後七時入京中の無所屬代議士田村新吉氏外十名を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を催し總督府各部長官以下陪席す

●共進會と鐵道（運輸）

朝鮮鐵道局が這回開催の始政五年記念朝鮮物產共進會の爲め豫期以上の好成績を擧げつゝあるは屢報の如くなるが開會當日即ち九月十一日より十月五日に至る間に於ける共進會に關する運輸收入は實に九萬八千四百餘圓を計上したるを以て此儘の成績にて進行せば閉會當日迄には優に二十萬圓の實收を見るに至るべし今前記二十五日間に於ける旅客及び貨物の輸送狀況を示せば旅客延人員は十一萬九千五百七十七人此の賃金九萬五千八百七十八圓八十三錢に[illegible]延人員六萬七千八百七十[illegible]七萬四千九百九圓十六錢[illegible]

●細川侯水原行

入京中の細川侯は九日午前八時十分南大門驛發列車にて水原に[illegible]本田勸業模範場長[illegible]技師の案內にて水原城內華虹門、訪花隨柳亭、華寧殿等を遊覽し[illegible]模範場を視察せるが[illegible]ことゝて殊の外注意深く各施設、作物成績品等を觀覽したり、斯くて西湖杭眉亭にて本田博士の野菜料理の饗應あり、西湖の風光を賞し十二時三十九分水原驛發列車にて本田場長以下の見送りを受け出發歸京せり

●廣島視察團

廣島市朝鮮協會の主催に成る朝鮮視察團一行三十名は九日釜山著同夜入京す其日程左の如し

▲九日釜山より南大門驛著 ▲十、十一、十二日京城滯在 ▲十三日南大門、仁川間 ▲十三日、十四日に亘り仁川、釜山間 ▲十四日、十五日に亘り釜山、下關間

●平壤に於ける農相一行

河野農相一行は八日午後三時十分官民多數の出迎を受け平壤驛著停車場にて小憩の後三時五十分發列車に搭乘寺洞に向ひたるが同地にては雨中吉川技師の東道說明により俱樂部前の高地に登り傘を傾けて附近の鑛區を展望約一時間の後六時復平壤に引返し柳屋旅館に投宿八時より大同館に於ける官民有志聯合の歡迎會に臨みしが興に乘じ約一時間餘に亘り其の幼時小間物屋の店員たりし時より現時に至る一身上の紆餘曲折を中心としたる一場の日本國勢推移談を試みたり九日は早朝より自動車に搭乘して郊外牡丹臺附近の絕勝を探り市中の視察をなし午前九時發列車にて南浦に向ひ同地一巡後三時平壤に來り直ちに急行列車にて新義州に向ふべし（平壤）

●平壤紳士歡迎會

八日午後七時より大同館に於て開會松永、本田、大村（友）宮川、坂倉、大橋（恒）阿部諸氏の發起にて官民重なる人々出席盛會なりき（平壤）

●赤愛職員退壤

小澤副社長一行は八日午前四時二十一分北行し南尾副社長一行は同午後一時三十九分南行列車にて退壤せり（平壤）

●[illegible]驛員試驗

今回朝鮮鐵道局にて施行すべき驛員試驗は十一月十一日より施行に決定し願書を受付居れるを以て受驗者は七月三十日限り[illegible]に差出すべく其種類は甲種[illegible]各種の驛員なりと

人事消息

▲岡十郎氏（東洋捕鯨會社長）九日內地へ
▲工藤英一氏（[illegible]）九日朝大邱へ
▲大谷尊由師 九日朝安東縣より入京
▲谷口留五郎氏（慶尚北道知事）八日夜赴任
▲中地夫若衛門氏（日本綿布株式會社長）
▲北里柴三郎氏（醫學博士）同伴會大會の爲九日午後九時南大門著入京
▲田島村太郎氏（[illegible]）入京中の處
▲椿坂直右氏（[illegible]）九日午前開城へ
▲青木宣純氏（旅順要塞司令官）
▲井野口少將（元第三十一旅團長）新任第二師團長として赴任の途次十日午後七時四十五分釜著一泊の上東上
▲島村孫一郎氏（群山水產會社專務取締役）八日入京山本旅館へ
▲大岩鐵造氏（滿州慈惠醫院長）同不知火旅館へ投宿
▲野原新三郎氏（防長新聞社主筆）同上
▲齋藤謙三氏（東北第一部長）同上
▲三浦周行氏（京都大學教授文學博士）八日入京
▲入澤重麿氏（醫北醫務部長）八日入京天眞樓へ投宿
▲中村靜嘉氏（大平生命保險會社長）同巴城館へ
▲岩尾治平氏（香港合資會社支配人）同潮尾へ
▲君塚鍛三郎氏（全州慈惠醫院長）同上山本旅館へ
▲飯田實氏（楚山慈惠醫院長）同上
▲林國太郎氏（龍兵大尉）同上
▲國見儀作氏（公州慈惠醫院長）同上
▲後藤五百三氏（海州慈惠醫院長）同上
▲高橋修一氏（江界支廳列事）彌生旅館へ
▲山田彥光氏（縣議士）八日入京彌生旅館へ
▲垂水寧吉氏（統營支廳列事）入京中の處八日北發歸任
▲森本泉氏（栃木縣內務部長）八日平壤へ
▲藤波福氏（京都大學教授）朝鮮ホテル滯在に
▲馬越恭平氏（實業家）八日入京朝鮮ホテルに
▲祖父江重兵衛氏（同）同上
▲ジェームス、ハンソン氏（米國陸軍大尉）同上
▲目賀田男爵 八日夜入京小松綠氏宅に滯在
▲佐竹義準氏（男爵）入京中の處九日朝內地へ

南言北語

先月の事實總統に奉極を請願した支那八十二將軍の名は殆んど現時の支那各上將軍、師團長、旅團長其他の閣下連中を含んで居た▲當時此の歷々のお名前を拜見した時ハテナと思つて居た▲殊に當時馮國璋氏の北京入は帝政運動遂行の爲めだと迄傳へられたが▲其の軍人派帝政の急先鋒だと稱せられた馮將軍は今度南京から逐はれた▲馮將軍たるもの之れで滿足が出來ようか殊に部下二個師團の軍隊が將軍の爲めに憤慨して居る時に於てをやだと思つて居ると[illegible]▲と云ふ處へ觀兵式は中止だ、[illegible]▲河野農相が八日釋王寺を參觀した時停車場のプラットフォームに一人の男がツカ〳〵と出て來た▲農相は見るより滿面笑を浮べて「君は此處に居たか」「ヤー君も御無事で」と親しく握手して昔の情がありへ〳〵と顏から見えた▲扨て此の知己と云ふのは釋王寺温泉の經營主任佐瀨熊鐵君であつた▲其の昔だ佐瀨君も自由黨時代に農相とは手を携へて東奔西走した一人である▲殘十年振の面會で君の胸中や果して何うであつたらう▲紅葉燃ゆる釋王寺を背景とした處が一層面白い

德富蘆花譯述

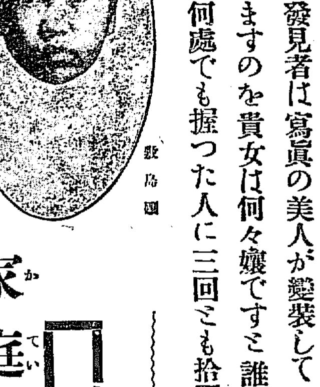
探偵異聞（第三版）

▲定價金二十五錢 ▲郵税本社持

○梟鴟の奇談 ○うらおもて ○部落 ○雲がくれ ○秘密條約 ○大隱謀 ○まかつみの七編にして凡て外國探偵小說中の粹を拔き之を譯するに蘆花氏得意の妙文を以てす波瀾萬丈人物出沒の奇一讀魂飛び神飛ぶの思あり蘆花氏の著書中全く色彩を別にしたるものにして亦以て著者の多趣味多方面の筆致を窺ふに足る可し

京城日報社代理部 振替口座京城三〇〇番

興味津々タル變裝美人探シ



敷島孃

大和孃

朝日孃

變裝美人

發見者には 金拾圓を 進呈します

變裝美人探見方法

■午前 朝日孃
■午後 大和孃
■夜間 敷島孃

發見者は寫眞の美人が變裝して家庭博場內に居ますのを貴女は何々孃ですと誰何さ共に衣類の何處でも握つた人に三回とも拾圓宛進呈します

家庭博と「東亞デー」

▲開催 十月十日日曜日（雨天順延）

■敷島 ■大和 なれば……壹袋
■武藏野 なれば
■朝日 なれば……貳袋

御買求め開封の上左の處に御持參の方には入場券壹枚宛小兒券は二枚を進呈します

入場券御渡所

明治町	東亞煙草販賣所
京城本町二丁目	東亞煙草景品引替所
東大門市場內	鳳根
南大門市場內	金弘植
光化門郵便局前	朴[illegible]商店
本町四丁目	森田商店
新龍山	永濱商店
舊龍山	小山商店
京日社前	家庭博入口

家庭博入口にて右煙草を御買求になるが一番便利です

有益な家庭博が「只で見られる」

東亞煙草株式會社

市場零聞

▲依然保合ふ 大阪入電未着[illegible]

▲內地異作說 內地の[illegible]大阪今回の大立[illegible]

京城正米 [illegible]

入京せる久留島武彥氏

危險に曝露せる現代少女
文部省囑托久留島武彥氏の觀察

文部省の囑托にして巖谷小波山人と共に日本のお伽噺の双璧と稱せらるゝ久留島武彥氏は東洋協會の用務を帶びて八日夜入京した、中途出迎へたる記者に對し所感を語る、曰く

▲破壊された家庭
今日程家庭の問題が社會の全階級を通じて研究された時代は前代未聞のことであるが、併し又今日程家庭と云ふ城廓に龜裂を生じ、遂に破壊の境に近迫した時代もないと考へらるゝ、つまり舊き家庭は亡びて新しき家庭生れんとする、其過度の圏内を進みつゝある時だからして、止むを得ざることゝは云ふものゝ、仲々以て閑却すべからざる大問題である、岩野泡鳴、島村抱月、松井須磨子などゝ云ふ所謂彼等の稱して醒めたる新人と云ふやらを猫も杓子も一樣に習はうとし或はそれに贊成はせずとも反對せぬと云ふ樣な傾向が凡ての人の耶邊かに閃く樣になつたのも極最近の問題である、醒めたる夫、醒めたる妻、醒めたる娘を主張するのも亦近代文明の產物である、

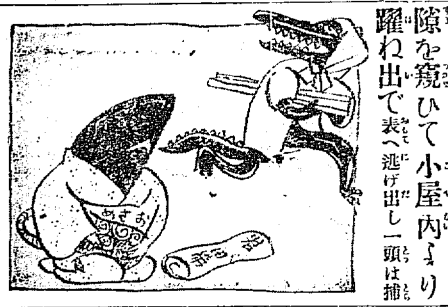
▲少女の心理狀態
如斯狀態であるからして日本の家庭には何等そこに統一點が發見されない、即ち危險の域を彷徨して居るに從つて家庭教育なども世間に喧傳されて居る如く事實に於ては顧慮されて居ない此樣な間に介在して可憐なのは十三四歳の生理上から云て大變動を來す時期にある少女である、此時期の少女は……少年は殆んど遺傳的に冒險思想だの英雄崇拜だのと云ふ勇猛心が起るけれども……本能的に何んとなく寂寞を感ずる、何にか力強いものに寄縋たいと云ふ氣分になる、けれども家庭では生活のために忙しく之れを顧ず同情を寄せないつまり父も母も兄も姉も皆現代生活に不安を感じつゝある、其一人であるからである、併し少女は生理上の變化と生活の影響とが加ふるに感傷的な雜誌などの挿繪とか文章等は一層孱弱な乙女の神經を刺戟して益感傷的になつて尚ほ更ら同情、強い力を要求するけれども家庭で與へられぬから止なく外部から求めようとする樣になる

▲子供の室を造れ
一體日本人程子供を玩具扱にする國民はない又日本人程子供に干渉する國民はない、西洋の少女が十三四才の時分には隨分お轉婆で、快濶でのび〳〵した所があるのに反して日本の少女は沈鬱な、そして常に泣顏をして居る、之れには種々な原因もあるが干渉が過ぎるからだ。故に是否家庭に子供の部屋を造つて欲しい。子供の部屋さへあれば大人の眼に觸れる機會も少なく從つて入らざる干渉をして子供の心を萎縮させると云ふ樣なこともあるまいと思ふ、先づ今日の急務は家の改造である

▲危險なる投書欄
女學校時代の少女等が如何に家の理解にて同情を求められず、自分を了解せられずして詮方なく外部に求めつゝあるかと云ふことは少女雜誌の投書欄などに掲載される投書に依つて其一端を窺はれるのであるが現に自分等の所に日々舞込んで來る手紙にしても家內の前では開かれぬ樣な手紙が少なくない、例へば『妾と先生と只二人切りと云ふのは女性の獨占的な性質を現はして居る……樹立茂れる深山の谷間で松籟を聞きながらシミ〴〵とお話しがして見たいが若し先生が此樣な時間を私しに與へて下さるならば御知らせが願ひたい』と云ふ文句を羅列した手紙が多い若し之れを惡用するとせば是程危險なものはないのである

▲『可からず』教育
之れを世の所謂教育家などに云はせると危險とか不健全とかの一天張で批評を加へるのであるが、自分は其樣な血も涙もない教育家こそ寧ろより多く危險だと思ふ、然るに之れを一概に雜誌は讀むべからず、單獨外出すべからず、華美な服裝をすべからずと一から十迄『可からず』で押し通して行つて何日の頃か溫き春風に萌出づる生々とした大和撫子の姿を認むることが出來ようか、尤も雜誌の如きものも今日の如く多數になれば勢ひ玉石混同を免れぬけれども單に雜誌の講讀を禁ずると云ふ消極的な方法よりも比較的健全な雜誌を選擇し時には其記事中に現はれたる人物を捕へて現實の問題に結付け之れを彼等の實生活に當箝る樣な方法を取るべきであらうと思ふ女學校時代位の少女と云ふものは至つて知識慾が熾んなものであるからしてこれを善導して健全なる少女を作り出さねばならぬことは何人も痛切に感じて居る問題である

水族館の二大珍事
鰐魚が逃げ出す鮫が子を產む



仁川水族館前に興行中なる見せ物の鰐魚二頭は七日夜半番人の隙を窺ひて小屋內より躍れ出で表へ逃げ出し一頭は捕へられたが他の一頭は水族館橫手の鱰より海中へ飛び込み翌八日には仁川港內へ三回頭を現はしたとかで港內は戰々兢々たる有樣又水族館第一號槽に飼養中の鮫は兩三日中に御目出度いことがある由にて各係員は大悅びだが行て見ると成る程大きいお腹になつて威勢よく泳いで居るこれに付いて係員は安產の上は大祝をすると今からその日を待つてゐる

家庭講演會
愈よ今夜正七時 家庭博覽會にて

土曜の共進會
九日の土曜日は、昨日までの雨が歇んでガラリと晴れ、青空溶けんばかり、持つて來いの共進會日和に早朝から各學校生徒、鮮人團體の打ち續いて入場するもの引きも切らず、何時の間にか單衣がネルやセルに、白服や夏の薄い洋服が間服に代つた觀客のパラソルや、中折れや山高が波を爲して押しかける賑かさ共進會

南大門外強盗
京城北部樓下洞八十四番地鐵工職崔榮植(三一)が六日夜所用を終つて麻浦より歸途午後十時半頃南大門外正界洞蓮花峯の坂に差し蒐りたる際二人の曲者追隨し來り一人は突然同人の背部に廻り手拭樣の布片を以て榮植を後手に縛し一人は長さ一尺餘の鈍刀を頻に突著けて所持金の提供を迫り若し聲を出せば即時に殺害すべしと脅迫し手早く同人のポケットにありたる蟇口一個を强奪したり中には僅かに現金十八錢五厘ありたるのみにて賊は其儘暗に姿を晦まして逃走したるより榮植は懸命に走せ歸りて太平町巡査派出所に斯くと急報したれば同所より詰合の警官二名即時現場附近に到り搜索の結果遂に一名を逮捕して本町署に引致し尚ほ七日朝引續き犯人の搜索をなして遂に龍山に於て捕縛するを得たり六日夜引致したるは住所不定前科者金順昌(一四)翌朝逮

天勝のサロメ
待ちに待たれた天勝一行の大奇術は愈々十日を初日に共進會の演藝館で花々しく開演する事になつた、天勝一行の中には花羞かしい美人が十幾人も居て例のギラ〳〵と美しい洋裝姿でダンスも演れば輕妙の小魔術をも觀せる、天勝孃は今や劇界の呼物になつて居るアノ八釜敷しい『サロメ』を演ずる筈、而も魔術應用の上天勝一流の曲線美を觀せるのだから、開演の上は定めて大喝采を博することだらう

久留島武彥先生お伽講演
十日午後四時から 家庭博にて

行きの電車には十日開催の『大寳探し』の廣告が出て居る、町の角々には『天勝奇術』の札が立てられる、場內の彼方、此方にも之れが催される各種の中間デーの廣告や、協贊會に持ち込まれる『寳探し』の賞品等で活氣付いて來た事夥しく、入る客も出る客も皆嬉々として晴れ〳〵しい面持ちに何んとなく浮き立つて見える、殊に午後からは各官廳銀行會社の役員や、勤人が仕事着のまゝで正服、脊廣、羽織、紺背の袴入り亂れて入場するもの殊の外多く近來の大賑ひを見せた

捕せられしは慶北大邱南城町生れ龍山錦町百六十八番地樋口敬方同居の趙秉轍(三六)にて目下兩名共餘罪ある見込にて嚴重取調中

水上飛行機著
水上飛行機第二白鳩號は七日仁川著八日仁川歌舞伎座に於て飛行家海野氏及び小山黒天風氏の飛行講演會ありたり

基督教說教會
南米倉町京城基督教會に於ては市原親英儀の爲め來京したる東京新町教會牧師錦島佳吉氏を聘し左の通り說教會を開く由錦島牧師は日米問題の爲め一昨年十二月渡米半年間米國加洲各地に遊說を試み後東部各地を巡廻し大統領ウイルソン國務卿ブライアン氏等を初めとし彼地多數の名士と會見日米問題の解決に努め昨年歐洲を經て歸朝したり尚同氏は東京にて教會傳道に當り居る傍ら顧問救濟會なるものを設け世の煩悶者を救濟しつゝあり

十日(日曜日)午前十時 信仰の基礎
同午後八時 日米問題と基督教徒 錦島佳吉氏

電車飛下り
六日午後十二時頃城南大門通五丁目セブランス病院前に於て南大門通五丁目稻葉旅館雇人金仁五(二二)は東大門の方より進行中の電車より飛下りの止むるも肯かず飛下りなし大地に倒れて頭部を打ちて負傷し少量の出血ありたるより應急手當を加へて自宅に屆けやりたりと飛下りは注意すべき事共なり

妙心寺提唱
玉沙洞臨濟宗妙心寺別院に於ては十日日曜午前九時より臨濟録例の如く後藤瑞巖老師の無盡燈論の提唱ある由にて聽講自由なりと

曹洞宗別院薰風會
十日午前九時より若草町曹洞宗別院に於て薰風會例會を開き北野元峰師の法話あり一般來聽隨意なりと

メソヂスト教會(旭町二丁目)
十日午前八時四十五分日曜學校十時禮拜說教一留心すべ

高野山の記念傳道
新町高野山に於て共進會を機として去る五日より六日七日八日の四日間總督府令社寺規則に付協議會を開き夜間は共進會記念のため市內本町一丁目、明治町空地、永樂町四方角、新町等に數名の說教師を派遣し九日は午後より仁川に赴き各町と水上飛行機等に多く路傍傳道する由

廣江商會の光榮

寄附し度生に告ぐ

家庭博の變裝美人
發見者には十圓の懸賞 十日の午前と午後と夜間の三回 朝日か敷島か武藏野を買へば入場無料

明日の十日は日曜日で家庭博では實に空前の珍趣向が凝らされることになつて居る、此珍趣向と云ふのは外でもない、美人の變裝探しである、別項東亞煙草の廣告中に現はれた三美人の內朝日孃は何に化けるか判らぬが兎も角も變裝して十日の午前九時から家庭博會場に乘り込んで來て正午まで場內を徘徊して居る、入場者は此の朝日孃を發見して『貴女が朝日孃です』と其の名前を云つて捕へれば即座に十圓の懸賞が貰へるのである、午後には引續いて大和孃が變裝して乘り込むで來る、此大和孃の名前を云つて捕へた人も同樣十圓の懸賞が貰へる、夜は敷島孃が變裝して來る、之れも同じ方法で發見した人には十圓の懸賞がある、若し變裝が餘りに巧みで午前中の朝日孃が捕まへられなかつた際には午後にも出て都合朝日孃と大和孃の兩人が出ることになる、晝の內に二人共發見せられない場合には夜に三人の變裝美人が場內に現はれる事になる、

這般珍趣向がある上に此の日に限つて無料で入場することが出來る組織になつて居る、即ち家庭博の正門前には東亞煙草の賣店が出來て、朝日なれば二袋、大和敷島若くば武藏野なれば一袋を買へば家庭博の入場券を一枚宛小兒券なれば二枚添へる事になつたから此日丈けは宛然無料で家庭博を見る事が出來る譯で煙草は家庭博の前で買はなくとも他所で買ふた朝日、敷島、武藏野を見せた丈でも入場券を渡すことになつて居るから此千載一遇の好機會を逸さず來觀して變裝美人を發見し十圓の懸賞をお取りなさい

評判の奇術
二三日續いた鬱陶しい秋雨は九日の朝からカラリと晴れ瑠璃の如うな空あいに暫らく閉ぢ籠められて居た人の氣をそゝり立てられ朝から出たわ出たわ非常な人出、家庭博は內外共大賑ひ午後二時からは天洋一行の美しい所細子、菊子、不二子の三美人と天耕に天正が花々しく乘り込んで來て後庭の舞臺で小奇術、大魔術、天耕天正得意の滑稽雲雀の身振りをやる滿場山なす觀客は大喜び大喝采近來にない大盛況であつた

共進會の餘興 大寳探しデー
▲場內興行場より各賣店通路附近の地域內に於て
▲十月十日 午前九時三十分開始 午後二時締切 (雨天順延)
▲寳の種類 一等 拾五圓、二等 八圓、三等 五圓、四等 參圓、五等 貳圓、六等 壹圓以下十貳等迄二千點總價格數百圓
▲詳細の事項は場內に掲示す
京城協贊會

至誠御披露
大改築落成京城唯一の演劇たる本旨に從ひ今九日午後五時より大阪歌舞伎若手の市川眼笑、市川朧抑の新昇を以て御披露演藝を爲し引續き七日間にて打上げ次は飛切り上等の大活動寫眞を提供す何卒御觀覽御評判奉希候
日活會社專屬 壽座 々主敬白 電話五七八番

防水布 雨着
見本附定價表無代進呈
防水布雨着問屋 東京市京橋區南鞘町九 福田豊三郎商店 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五

成功 致富 株式相場
東京神田表神保町十 富強世界社

茶代廢止 席料なし 東京市芝區愛宕町二丁目
旅館 月見館
閑静清潔交通便利 電話芝一八六五番

朝米
致富之寳無代進呈 前金註文に紹介を要せず
大阪堂島米穀取引所仲買人 (正) 橋本猶作

親切叮嚀 客室完備 平壤大和町 松岡旅館 電話三〇五番

冷卸發賣

釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

十月十日より五日間
冬物大賣出し

商況
朝鮮物産取引所
下關相場
天氣 晴れ 十月十日

大阪三品特電

綿品入電の利目勝かりし七日前場の三品市場は各限を通ずて五八十銭乃至一圓五十銭方の低落を告げしも内地の如何に拘はらず原綿の騰落に依つて人気を左右せられつゝある同市

大阪株式特電

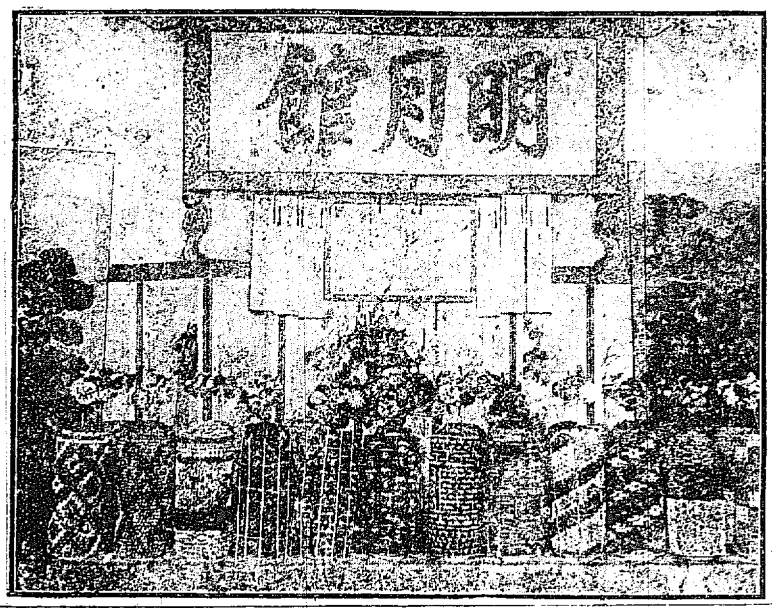
大阪期米特電

平南總會 西鮮空前の盛儀

赤十字社及び愛國婦人會平南支部總會は七日午後開會會場入口正門には日章旗を交叉し鶴國旗を吊し紅白の幔幕金風を孕み鹿寄せの天幕ざわ〳〵と忙しさう也、軈て定刻近くなれば人の影も次第に濃く場内處々に設へたる休憩所茶菓所等は瞬時の隙間もなく閣下の來賓待合所は人を以て埋められたり午後二時を過る頃天候益々惡しく驟雨來つて雨模樣となりたれば一と先づ諸員を式場に整列させ待つ程もなく小澤副社長、吉安參事は本田副長、宮永幹事、三浦副官其他同乘自動車にて山縣本部總長一行は福田署長を先頭に遠藤秘書官、藤波通譯官、松永支部長其他之に從ひ腕車にて何れも正門より階上の休憩室に入り小憩之に後るゝこと約半時間にして濱尾副會長、棚橋理事、伊集院評議員、古市理事、國分本部長代理、稻垣京城支部長一行は松永支部長以下職員の方々案內して正門より到著午後三時卅分放々天に響く爆竹を合圖に小澤副社長濱尾副會長山縣本部長外職員定めの席に著き、乃ち松永支部長登壇一同最敬禮、君が代奏樂の裡に恭しく總裁宮殿下御寫眞の覆を撤し次に總裁宮殿下御寫眞の覆を爲し奉るや松永支部長登壇一同最敬禮の裡に祝報の順序を以つて茅出度く式を終り解散、此日西鮮空前の盛儀に列せん爲め平壤は勿論鎭南浦其の他地方委員部よりも參集せる人無慮千餘名と註せられ左しも廣々たる大講堂も殆んど立錐の餘地なき程にて職員一同豫想外の成功に喜悅禁せざる模樣なりき

▲打寛ぎたる清莚▲（卓上に鏡餅紅葉）赤愛總會の茅出度く式を終ると共に別室に於て茶話會を開く、雪白の卓上に配するに緣滴らぬ後凋の松柏と燃ゆるが如き赤誠の楓とを以つてし山々と盛りたる鉢を圍みて上下無差別式後の設宴なればとの係員の心遣ひも嬉しく一同十二分の歡を盡し金風に翩翻たる國旗を背景に記念の撮影を爲して散會せるは黃昏近き頃なりき

▲總會雜觀 平壤支部は第二回の總會とは云へ前回は創立匆々で諸事思ふやうでなかつたから言はゞ今度が始めての總會であると職員も云うてゐる殊に東京からは小澤副社長濱尾副會長本部からは山縣總長其他の幹部が態々臨席されたのだから社員や會員も繰合せて出たらしい▲數日來雨模樣であつた天候が幸にも此日は朝來降らず照らすの譯へ向きで二時過ぎには一寸降つたが此時には大部到著してゐたから雨の爲に途中から引返した者は恐らくあるまい然も無事式を終つて各々歸途に就く頃には雨もあがり其夜から又候ショボ〳〵降り出して恰かも總會に必要な時刻丈けを除けたやうな氣がする▲這般の時には得て設備が何うの待遇が斯うのと苦情の起るものだが職務の範圍を拙つて謹辞した人々のことを想へばアレ丈けに仕終せたのは先づ〳〵成功と云はねばなるまい▲當日氣遣れた夫人連の態度も思つたよりは立派であつた殊に濱尾松永兩夫人は垢馴れたとでも云ふのか此の惡びれた風もなく然かもしとやかなのには感じ入つた▲夫人で思ひ出したが過日の本紙に濱尾、伊集院、高橋三夫人と棚橋綱子刀自のお噂話が載つてゐた『內地婦人の華美贅澤』の一節は誠に頂門の一針で六日の午後停車場に一行を出迎へた若い夫人の中で一行は勿論古市國分稻垣夫人等お歷々の質素な服裝に自を顧みて碌々挨拶もせず人々の後に肩身を狹うしてゐた人もあつたやうだ（平壤支局）



家庭博の四號館（朝鮮菓子の陳列）

記念會開催議

明年は滿洲の始政十年目

明年は關東都督府始政十年目に當り滿鐵も事業開始以來恰も其の十年目に相當するを以て記念及び祝賀の爲め今次京城に行はれたる物産共進會並に鐵道祝賀會と略ぼ同一の意味を以て明年春季若くは秋季に大連に始政記念滿洲重要物産共進會及び滿鐵十年記念祝賀會を開催せんとの議あり併し殆ど此際大阪において滿洲記念博覽會を開催すべく既に其計畫中なれば同博覽會を見合せ之を大連に移さしめ共進會と稱せず博覽會と稱して大規模に開催しては如何との說もあり官民の間において寄々協議せられつゝあり（大連）

大田議員改選

大田學校組合議員改選は愈々十日と決し餘す處僅か數日なるも候補者は各區推薦協議中にして未だ確定を見るに至らず最も呼聲の高きは渡邊、青山、須々木、大內、安宅、內藤、久納、佐藤、富士、大野、秋津、古戶、矢切、宮內、辻、南部、藤田、工藤、識部、植地、荒川諸氏にして決定迄には多少の異動はあるべきも大體に於て略ぼ決せるものゝ如し、立候補諸否に拘らず市民多數の推薦により無競爭を以て當選すべきは內藤、須々木、白石、渡邊、大內、辻、大野、久納諸氏にして他は一大混戰を免かれざる形勢なり今回の選擧は單記投票なるを以て有權者數を議員定數に割當れば四十五票なるも各候補者に勢力の相異あり從て僅々十票か十五票を以て當選し得るやも保し難きを以て此の點を看破して奇襲を試みんとする者等もあれば正面の接戰暗中飛躍共に目醒ましきものあるべし

安東縣より

安東縣常置員

▲安東の經濟界● 九月中の經濟狀況を聞くに金融界は前月來一向に變化なく商取引閑散なれば隨つて新資金の需用極めて少なく唯柞蠶、大小豆の買付資金の準備として支那側には新資金の需用幾分起りたるが如し金利は常に弱含みにて越月せば結氷前の輸出資金及び冬物仕入れの爲め幾分の新資金を要すべきが內外の大勢上一般の金融並に金利は差して變動なかる可し輸出品としては原木の出廻りは大抵先月に於て一段落を告げ當月に入りては流出少なく相場保合にて商行捗々しからず豆粕大小豆は市價弱含みにて小口の日本輸出弗々之ありしのみ柞蠶系の貿行は內外共に好況にして品薄なれば相場漸高の狀態なり一方輸入方面に在りては綿糸布の貿行相當に之あり砂糖も亦强含みの狀態を持續せるが要するに一般市況は未だ活氣を呈するに至らず越月後は冬物の取引相當之あるべき見込なれば金融界は幾分活氣を呈す可し

▲小澤男爵視察●●● 日本赤十字社副社長小澤男爵は豫定の通り八日午前九時四十分列車にて著安官民有志多數の出迎を受け馬車にて領事館に入り少憩の後公會堂に於ける當支部役員の茶話會に臨み終つてスミレに於て午餐を認め午後支部の社業成績を視察して旅館元寶館に歸館午後七時より公會堂に於ける官民合同の歡迎會に臨みたるが一行は九日午前十時四十分列車にて出發奉天へ向ふ

▲安東貯銀發展● 創立以來逐年良好の成績を擧げ日支人間に多大の信用を有する安東貯金銀行は今回支那町中富街なる政記公司內に派出所を設け愈々八日より營業を開始したるが開店當日早くも約七萬圓の預金ありたりと云へば同所の開店が如何に支那人側に歡迎せられしかを推知するに足る可し

▲澤柳上院議員● 貴族院議員澤柳政太郞氏は七日午後新義州著同地官民の出迎へを受け深川府尹の案內にて小學校普通學校其他を視察し鐵道ホテルに投宿八日朝來安市內を巡覽し午前發列車にて京城へ向け出發せり

▲本山大每社長●●●● 大阪每日新聞社長本山彦一氏は七日夜通過五龍背溫泉に一泊の上奉天に向ふ

●連絡船上陸客

八日午前入港弘濟丸一二等乘客 一等（十一名）岡田有龍、山內正暎、河井松之助、伊藤小三郎、藤浪鑑、山口鑑三、中丸一平、外人四名、二等（三十七名）韓人五、韓萬熙、宍澤治六郎、吉良謙三郎、秀村得一、佐野木延三郎、小阪辰藏、水川富弌、同息子、森田幸一、北川外次郎、三田周行、赤星重網、虎吉太郎、田中三野三郎、同耕、野本ヤす、西村佳太郎、峰岸曾七、濱田浩七、兒玉延二郎、今田庫吉、佐方榮次郎、牛田徹一、今枝隆介、安岡一郎、倉田耕作、飯田實、同初子、岡田喜助、那波房太郎、宍戶重三、中島本太郎、渡邊米吉郎、竹中政一、古城與、近江俊太郎、三等（百九十一名）

八日午後入港對馬丸一二等乘客 一等（五名）伊藤要藏、同武、矢部文吉、廣瀨耕治、澤山喜多治、二等（十六名）中村松三郎、西脇竹次、同保三、高木平、中島庄太郎、村岸次郎、高山俊吉、小林正作、板垣豊、神澤艇彦、藤岡仁太郎、關世吉、同信太郎、清原昇、大石貞次郎、有本新太郎、三等六十一名

演藝案內

壽館 町 電話一〇五〇
東京落語歌舞伎曲々藝桂三木助一行
◎十月五日より晴雨に不拘每日午後六時開演
[illegible]三遊亭右朝、古今亭信[illegible]郎、桂三木助、三遊亭[illegible]
共進會を祝する爲め入場料 一等三十[illegible]二等二十錢三等十錢

世界館 黃金町 電話一四三四
當る九月二十五日より
▲松旭齋天洋師出演▲世界的大魔術
▲共進會特別興行▼每日午後七時開場
土曜、日曜は正午開演

壽座 壽町 電話五七八
大阪若手俳優市川眼笑市川新升一座
十月九日（初日）正午開演
前狂言 敷三番叟引拔段廻り
中狂言 御摂羅先代萩
切狂言 阿波鳴門どんどろ大師
[illegible]
壽座々主敬白

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

龍光館 龍山停車場前 電話（龍山）四一番
十月八日よりの三大寫眞
▲泰西新派劇[illegible]▲[illegible]▲泰西大活劇[illegible]
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番
當る十月七日より新寫眞提供
▲實寫パテー週報▲[illegible]
泰西活劇「空中探偵」最長五千尺▲[illegible]
劇『怪鼠傳』全三卷八十六場▲[illegible]

浪花館 明治町 電話一二六〇番
いよ〳〵四日より特別大興行
東京落語大一座 柱小南一行來る
[illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も低廉に可迅速と可確切を旨とし御高評に可應候
京城日報社 寫眞製版部

有樂館 本町一丁目 電話二六六
新築落成
〇實寫『ウイルアムツン週報』〇泰西喜劇『コーヒー』〇泰西喜劇『一心不亂』〇新派大悲劇『夕ばえ』最大傑作〇探偵大活劇『覆面魔』全三卷〇佛國パテー會社近來の大作『ファンテー』[illegible]
記念五十場

御成座

御成町 電話二九一
第二十八回替藝題
（一）是亦意外『法廷の血涙』全十場
（二）喜劇『芝居之寫氣』全一場
▲登場人名 伊津美次郎、佳木時夫、川上一明、芳川秀夫、吉田操、藤井隆之介、富士雪峰、滿野隆之助、酒田君夫、池際一、荻湊二郎、日野萬兵衞、小役木細子、上川二志

佐久良座

龍山

吉田奈良丸一行來る八日九日新龍山佐久良座にて興行仕候木興行は先般急ぎ升故二日間風雨にかゝわらず日延なし▲初日讀物▲前南部坂雪の別れ▲神崎東下り（吉田奈良丸）

即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ノ當日（十一月十六日）地方ニ於テ饗饌ヲ賜ハセラルル者ノ宿所氏名等屆出方九月二十九日官報第九百四十八號（朝鮮總督府官報十月二日第九百四十八號）掲載ノ大禮使彙報欄ニ即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀當日（十一月十六日）地方ニ於テ饗饌ヲ賜ハセラルヘキ者ハ當該項第一項ヨリ第九項中左記各項ニ該當スル者即チ位記ヲ除ク外ハ大饗第一日ノ夜宴ノ儀ニ召サレ其ノ宿所氏名並當該資格ヲ十月二十日迄ニ官報第九百九十三號（朝鮮總督府官報第九百九十三號）廣告欄ニ揭ケラレタル各郡郡廳又ハ府廳ニ届出ツヘキ旨廣告セラレタルニ付當該者ハ本月十日迄ニ京城ニ居住ノ者ハ當府ニ直接其ノ他ハ所管警察署ヲ經テ屆出ラレ度此段告示ス
長官ニ留守宅[illegible]若シ此屆出ヲ怠ルトキハ饗饌ヲ賜ハル[illegible]
セラレサルヘキ恐レアリ深ク注意セ
ラルヘシ
一 高等官
二 高等官待遇
三 有爵者
四 從六位以上ノ有位帶勳者
五 勲六等以上
六 勲七[illegible]
十八 [illegible]
大正四年十月七日 京城府

秋口の胃

兎角此頃は朝夕涼しくして、日中熱く氣候の變換甚だしく、又食慾の進む頃ゆへ、夏の間に胃の弱りて居る處へ、暴飮暴食をなして終に胃腸に病を起し、或は赤痢チブス抔を起す事があるから、胃活を常用する必要があります。

胃病 良藥

定價 [胃活] 一圓、貳拾錢、[illegible]
本舖 東京日本橋本銀町山田安民藥房 大阪南久寶寺町二山田安民藥房

松旭齋天勝一行來る

▲十月十日より十九日迄每夕六時開場
▲觀覽料 特等一圓 一等七十錢 二等五十錢 三等三十錢
共進會場 京城協贊會演藝館に於て
「サロメ劇」と大魔術

やわやかた 京城黃金町二丁目 呉服店 丸一綿部 電話二三三一番 振替三六五

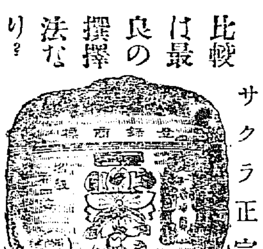
（定價表御一報次第送呈）
毛布 薄利多賣

眼科專門
京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院 電話一五五六番
院長 金井豊七

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町壹丁目 電話五八番一九四番 振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

比較は最良の撰擇法なり？
サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替京城五七番

院長 岡山醫學士 村上德一
內科小兒科 婦人科 京城醫院
京城本町二丁目（電話七四二番）

十月十日より 五日間
見切品大賣出し
めいせんちゞみあらばやぬぎやへ
京城本町 電話八九〇番 振替三〇二番

豫報 京城溫度 九日午後二時 [illegible]

已えのづみ 日の十五午

越後大評定

第八席　親子の對面

早川貞水口演

御諚は後へ戻りまして、其夜築山御殿では、お萬樣の行方が知れない、御庭を見ると、木戸の錠前がねぢきれ足跡が散亂して居る、さては是から何者か忍び込んだことと思つたが表向きにすると、築山御前は源君へ對して申譯がない、一時御心配遊ばしたが、其後作左衛門ひそかに秘め置いたに依つて何人知る者とてはない、家康公御心配あそばし、作左衛門へ御尋ねになりましたが、何の御答もしない、一向存じ申さぬと云ふ、月日の經つのは早いもの、其の間四ケ年を過ぎまして、於義丸樣御四歳にならせられました時に、家康公御鷹野に御出でになりましたを幸ひに作左衛門『見苦しきなれども我家へ御休息下し置かれ度』家『立寄るであらう』と仰せられ、作左衛門屋敷へ御立寄りになりましたから、御茶を參らせ、御休息あそばして居ると御障子の方に、小さい手が映り、パタ〳〵と障子を叩いて居るに依つて源君御目を注けさせられ『ア、愛らしき所の子供其方の孫か』と御尋ね『是は御目止りましたならば申し上げ奉る、何卒いたして御親子の御名乘を願ひ上ぐ』家『エー親子の名乘とは何事ぢや』作『去ぬる四年前十一月末旬頃、お萬殿行方不明の由を言上いたしましたが、彼の節は斯樣斯く〳〵』と申し上げた、愕然あそばして源君『さては其節の子供なるか、此處へ出せ』と仰せられた其時に其子の手を曳いてお萬殿恐る〳〵御前へ出でたる時に、変る其行樣を御覽になり、流石源君御落涙愛子の於義丸殿其方へ兩手を支き、禮をなしたる時に『此の如き愛らしき子の世に在りしこと、夢にも知らず……コリヤ於義丸、よう成人致せしぞ』と御頭を撫で遊ばすと『父上』と申し上げた家康公『作左其方の心中手は忘れは置かぬ、親子の身の上を大切に頼む……コリヤ萬、往く〳〵は其方に安堵いたさせ遣はす』萬『恐れ入り奉る』只有難涙にくれる、此御子樣は後に家康公天正十三年三月より十月迄羽柴筑前守秀吉公と小牧山長久手に御戰ひ遊ばし、愈豐臣徳川御和談と云ふ時に、人質御同樣に秀吉公の御養子となり、秀康公と申し上げ、徳川公の御安堵を計りました後此御方が、越前足羽郡福井城主七十五萬石、結城中納言秀康公と申し上げるのでムいます然るところ築山御前お勢那の方が、大賀彌四郎と云ふ臣下と不義あそばし、此事が御嫡子の岡崎次郎三郎信康公に相分りましたから、それとなく折々御意見あそばした、然れども却々御聽入れがない、後ち此大賀彌四郎は甲州の武田と通じ、徳川家の事、何事も内通いたし、一方信長公へ讒言いたす、之がため徳川源君、信長公へ申譯がない所より、終に御實子の岡崎次郎三郎信康公が御生害あそばし、其申し開きを御立てになりました、亂世とは申しながら、御惣領を失ひ、其家の安全を御計りになりましたのも皆此惡人大賀彌四郎より出でました事で御坐いますから、愈寛仁大度の源君も捨措き難く、御怒り遂に其所へ服部半藏、御前へ罷り出で、信康公の御生害の御模樣を詳しく源君へ言上いたした『直に御首を討ち參らす時の拙者の心中、御察し下し置かれたく』と云つて、忠臣半藏はら〳〵と落涙、信康公最後の際に臨み、御父君の事を思ばれ、御母君の惡事、殊に深く御心配あそばされ、其身を只思ふは最と易けれど父君の事を只思ふと仰せられたり』など詳しく申し上げたる爲め、源君流石に下うつ向き、御睫の邊は涙に浸して御在でなされた。

十月十一日九星　舊九月三日乙亥　本命四綠　翌除　大安

▲四綠 うか〳〵した事有日 新事見合北方は吉 婚姻與▲五黃 工夫のたらぬ事有日 新事手控有 事業盛は妨なし▲六白 不測の日なれども新事 移用の方吉 營事樹を植ゑるは吉▲七赤 せわ事にて迷惑せんとす 新事手控帝の事は吉▲八白 依頼心の事多き日 新事手控帝は吉保證請判等せわがよし▲九紫 福の集る日 轉居入學就作名弘家作求職 探 婚姻 醸造業等 萬吉▲一白 錦衣昇殿の日 不斷の身出世の道に出づ萬事に德有り待人來る▲二黑 様子のわからぬ事有日 新事手控義事は吉 新取引は用心せらるべし▲三碧 勇勢の日 轉居開業入學名弘求職造船嫁娶入大なる企亟か圖る導吉吉

大割引 **自動車**

新羅一千年間の舊都（朝鮮の奈良）慶州に遊べ京釜線大邱驛より快走タツタ二時間半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

毛生法（けをはやすほふ）

醫學士船津頌二先生が實驗の上其毛をはやす効能効大にして現世最もすぐれた毛はえ藥であることを證明せられたローエル液は禿頭病ぬけ毛うす毛腫物禿生えぎわ其他身體中あるべき所に毛なきに用ゐて皮膚に害なく奇妓に毛をはやしぬけ毛を止めますから一度おつかひになつた方は云ふに及ばず其特異の効果につき東京國民日日都やまと中央新聞以下全國諸大新聞に一齊に報道されて居ます希望の方は遠慮無ハガキで申込次第くはしい説明書封書で進呈す

東京芝區愛宕町二ノ一 電話芝一八七四番 **東京藥院**

滋腎 **田春丸**

陰萎病並に神經衰弱に大効あり

壹週間分金七十五錢　三週間分金貳圓也　送料各二錢

東京銀座 岸田吟香 電話新橋　振替口座四七七番

ポマード **パール**

ドナタにもよい パールをつかへば 世界的の髮油 どこへ出ても ひけはとらぬ

關西代理店 大阪 平尾贊平支店

煉香油

一筋づゝの しなやかで 毛があつまって 美しい髮 房々した 美しい 髮となる

ラヂウム液本舖 東京 平尾銑也商店

共進會最上（滋養大 閣下推獎）**乃木餅**（中販煙草御茶菓子代用）一箱拾錢 今回開店披露の爲め當所聯合賣出に付五箱以上御買求の方へは（數人組合にても宜）景品券一枚差上ます景品の當らぬ事なし壹の買物にて左の品り當舛 ●米一俵 ●毛布二枚 ●婦人吾妻コート ●嫁入簞笥 ●女丸帯 ●蒲團一組 ●其外澤山差上舛

賣出期限（十月十日より卅一日まで）

●市内各所に乃木餅の幟をたて販賣して舛 ●景品券は其處にて渡し舛 五箱以上の時は電話七五二番へ御通知次第景品券添迅速届けます

京城本町二丁目壽舘前 商號登記 **乃木餅屋**

七ふく ひえぐすり

本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし婦人病（血の道、ひえ、しつ、かさ）胎毒其他皮膚一切の諸病卽效本劑によし

藥價（十四週分七ふく入 金拾五錢）（壹週分十四ふく入 金參拾錢）（三週分四十二ふく入 金八拾錢）（五週分七十ふく入 金壹圓廿錢）

丸藥 金拾貳錢 金貳拾四錢 金六拾五錢 金壹圓

本家 大阪高津表門筋梅屋町西 七ふくや 伊藤長兵衛 電話大阪南七二三九番

大學目藥（だいがくめぐすり）

登錄商標

●定價金十錢廿錢（郵税二錢）三十錢（郵税四錢）大瓶五十錢（郵税八錢）●各地藥店に在り

大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基き貴重の製劑にして●はやり目●ただれ目●トラホーム●のぼせ目●疲目其外眼病一切に恐るべき効能あり●十歳以下の小兒の爲め別に小兒用人學目藥あり

「内外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」

大阪北濱壹丁目 參天堂藥房

小兒科專門 内科 **若槻醫院**

ドクトル メヂチーネ 若槻寛隆

京城旭町三丁目（元十全病院跡） 電話二四六二番

朝鮮煙草株式會社

조선연초주식회사

兩切煙草 パラダイス 十四本入 金武錢

兩切煙草 ホヤ イトコスモス 二十本入金貳錢

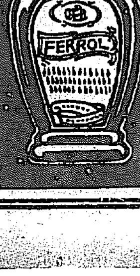
京城義州通 電話

夏痩せぬやう食進むやう紳士の家庭よ フェロール

非常の美味―非常の滋養

味は葡萄酒以上 毫も酒精分なし

大瓶壹圓五拾錢 中八拾錢 ○各藥店にあり



代理店 京城南大門通 新井藥房 ● 同大平通 キムラ藥舖 ● 釜山辨天町 大黑藥舖 ● 元山港 石田濟生堂 ● 木浦 木下藥舖 ● 安東縣市場 井上藥舖

優良經濟

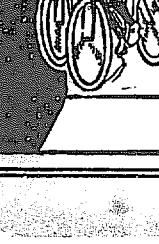
宮田製 アサヒ パーソン サンライス號 國華 ミスター 自轉車

堅牢にして輕快、眞に實用的なるは宮田製の誇りなり

直に購ふて刻下の活動に備へられよ

賣捌店全國到る處有名なる自轉車店

●模造品多し各部分の印商標に御注意



發賣元 宮田製作所

祝物產共進會

帝國醫科大學病院各病院赤十字社病院藥局御用品

滋養強壯飲料は赤門葡萄酒に限る

朝鮮代理店

京城本町三丁目 明治屋京城支店（電話長一七〇二、一二〇三番 振替京城四四番）

釜山長手通 つまや商店（電話三五八番 振替口座大阪二〇一六九番京城三九番）

釜山本町三丁目 本嘉納商店釜山倉庫部（電話長三一番 振替京城二〇七三番）

釜山十城町電話九二一番 赤門葡萄酒釜山倉庫

十月十日より十四日まで **冬もの大賣出し**

京城本町 **丸一吳服店**

仁川期米　▲九日前場　大阪期米……

▲前場の商戰

▲仁川の軟材料

南大門の迴天

仁川米豆取引所

京城日報

年中無休刊

（第二千九百七號）

定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金七拾五錢

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　谷口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

桂公の三週期

徳富猪一郎

大正四年十月十日は、東京三田桂邸に於て、桂公三週期法要あり。予は心竊かに之に參列せんことを期したりしが、人事多くは意表の外に出で、却て友人の喪に奔り、遙かに京城に於て、此の祭文を草することはなりぬ。但だ公の靈若し知るあらば、予の不遜を咎めざる可し。

桂公は明治の下半期に於ける、主なる政界の大立者にてありき。其の勳業の崇且つ大なる、帝國發展の歴史之を證明す。但だ喬木風多く、高明の神の惡に遇る。其の晩節に於て、公が衆讒群謗の焦點となりしもの、偶ま以て公の功蹟の天下に赫々たるを反觀するに足る、豈に公の德を累はすに足らん哉。

然りと雖も公も亦た人也、凡そ人として弱點なきはなく、過失なきはなし。吾人豈に敢て公に向てのみ、其の完全、無缺を責めんや。但だ公の如きは、如何に其の功過を乘除するも、洵に一代の大政治家にして、且つ一世の人物たるを辱しめざりし也。其の識甚だ高からざるも、其の見る所、正鵠を誤らず。其膽甚だ豪ならざるも、其の容るゝ所、頗る大也。其の衆智を集め、群材を合し、之を一定の目的に向て導くの伎倆に至りては、殆んど公に於て、獨得の擅場たりしが如し。

今日の天下、必らずしも人才なきを憂へず、唯だ公の如き國家の大事に際して、天下の大勢に順應する、綜合的經世家を少ぐのみ。逝者復た追ふ可らず、吾人何んぞ今日に於て、公にのみ執著せんや。然く世界大變局の大機に於て、徒らに黨爭を事とし、國家の大經大綸を閑却するもの、未だ今日の如く、甚しきはなし。區々の內訌、却て千載一遇の好機を逸す。公の靈にして知るあらば、それ之を何とか謂はむ。

從來公を謂ふたる者、公を誤解したる者、公を正面の政敵としたる者、尙ほ今日に於て、公にして世にあらばと、太息、追懷するものあり。此を以て知る、公の失敗は、一時の事にして、公の成功は、不朽の業たりしとを。予豈に克く公を知るものならんや。但だ嘗て公の知遇を忝うし、中情耿々、遺んと欲して能はず。敢て蕪辭を綴りて、公の靈位に諗ぐ。

故桂太郎公と其筆蹟（上掲の額は家庭欄の三號活字にあり）

朝鮮開發の五年

五　財政と金融（十一）

金融機關の發達

農工銀行

朝鮮の產業は農を以て本とし之れが資金の融通を計るは產業開發上最も緊要の事たり。而して朝鮮に於ける農工銀行は明治卅九年三月舊韓國銀行條例に依り設立せられたるものにして、政府は之に對して或は株式の一部を引受け、又は資金の貸下を爲し、或は農工債券の元利支拂を保證し、して業務の發展を助長し漸次良好の成績を擧げ來りしと雖、時勢の進運に伴ひ其の業務の範圍を整理するの必要を認め、大正三年五月制令を以て新たに農工銀行令を發布し、當分の間普通銀行業務の兼營を認むるも漸次之を廢止するの方針を採り專ら農工資金の普及に努めつゝあり。併合の年即ち明治四十三年末に於ては本店の數六箇所、支店數二十七箇所なりしが、大正三年末には本店の數に異動なきも支店は十箇所を增加して三十七箇所となれり。其經營の概況を見るに明治四十三年末に於ける總運轉資金は七百九十五萬圓なりしが大正三年末に於ては一千三百七十萬圓となり差引五百七十五萬圓の增加を示し、又其の總預金は同年間に於て三百二十萬圓より四百七十一萬圓に、總貸出金は六百三十四萬圓より一千百五十五萬圓に何れも增加せり。同行創立當時にありては農工資金の貸出は微々として振はざりしも併合後地方產業の開發に伴ひ同資金の貸出は著しき膨脹を來し業務の狀況爲めに其の面目を一新し地方金融の疏通に貢獻する所甚大なりとす。

普通銀行

韓國併合前に普通銀行として存立せしものは朝鮮人側にありては漢城銀行、韓一銀行、朝鮮商業銀行の三行、內地人側にありては第一銀行、十八銀行、百三十銀行、周防銀行並に密陽銀行の五行にして、其內密陽銀行のみは朝鮮に本店を有するも其他の銀行は何れも內地に本店を有し朝鮮に於けるものは其支店又は出張所なりとす。然るに併合後一般經濟界の發展は漸次金融機關の增設を促すに至り、朝鮮人、內地人、又は內鮮人合同に依り設立發起せられ、其の營業の免許を與へられたるもの若くは普通會社にして銀行業務に目的を變更したるもの等合して七行に及べり。而して此等の銀行は半島經濟界の發展に伴ひ何れも業務の狀況日を逐うて發展しつゝあり。普通銀行の監督に關しては從來內地人の設立に係るものと、朝鮮人の設立に係るものとに依り法規の適用を異にし、前者に對しては統監府令韓國に於ける銀行業に關する制を、後者に對しては舊韓國政府發布の銀行條例を適用し、啻に法規の統一を缺ぐのみならず、日鮮人合同經營銀行の設立を見るに至りたるを以て之が準據も劃一ならしむる必要を認め大正元年十月銀行令を公布し同年十二月一日より之を實施し以て監督上の統一を期したり。今普通銀行の概況に就き明治四十三年末と大正三年末とを比較するに本店四、支店及び出張所二十なりしもの本店十一、支店出張所二十八となり、其の運轉資金は一千八百十一萬圓より二千二百七十三萬圓に、諸預金は九百六十七萬圓より一千百五十四萬圓に、諸貸出金は一千四百五十三萬圓より一千七百八十三萬圓に何れも增加せり。

地方金融組合

地方金融組合は舊韓國勅令地方金融組合規則に依り小農民の金融を疏通する爲め小額の農工資金を供給するを目的を以て明治四十年以來漸次設立せられたるものにして、併合當初には其數百十七箇所を算し、爾來年々之が增設を促し明治四十四年度及び大正元年度には各三十六箇所、同二年度に於て十九箇所、同三年度に於て二十二箇所を新設し、大正四年三月末に於て其數合計二百三十の多きを算し（外に本年度に新設せらるべきもの十箇所あり）組合員數六萬餘人に達し其の貸出金の總額は二百十四萬圓を超え積立金及び繰越金總額約五十萬圓を算するの盛況を呈し成績頗る良好にして地方小農民の金融を緩和し產業の開發に裨益する所尠からず。

尙ほ右の諸機關の外東洋拓殖會社に於て金融部を經營す、這は後章東拓の件にて記述すべし。

共進會出品概觀（三）

▲審勢館（全北）

全羅北道には管內主要の獎勵事業たる農業、漁業、畜產、林業及び蠶業の成績品を以て全州著明の豐南門模型を作り之れを中央臺上に置きて觀覽者に一目以て本道五大事業の成績を會得せしむ、即ち樓門の屋根は草皮、革皮、海苔、藺を以て葺き、壁は獸皮、蠶種、製紙原料、林產物等より成り、穀類、棉、蜂蜜、乾魚等を配して周圍に窓を設くる等其の排列極めて巧緻にして一見所謂南鮮第一城を髣髴せしむると共に施行の効果を實物に依りて表示し樓門の周圍には前記事業の獎勵上施設若くは改造せしめたる農具、水揚機、漁船等の小模型を排置して產業改良上の狀況を說明したり。

正面及び左右の壁面には更に圖表、繪畫等を以て產業、教育、經濟の推移の狀勢を一々數字を以て說明し、正面の圖表下に展示せる田園部と海岸部との油繪を背景として配置せる普通農業、養蠶、砂防、漁業、群山港等の模型も亦農業、礦林、水產、貿易の現況を示せり。

左右兩側の棚上には西より順に蒿俵裝、在來米と石拔米、天然乾燥及び人工栽培に依る椎茸、在來木炭と改良木炭並に在來漁具と改良漁具との比較、工業成績品、在來牛皮の缺點と剝皮傳習後に於ける改良品の甄別せるが其陳列方法頗る巧妙にして一見改良の功果と其苦心の跡を首肯せしむ。

今是等各種の模型、圖表等に依りて併合當時と今日との生產物消長の跡を概觀するに水稻作付反別は七萬五千町步內改良種作付反別七百三十四町步を充たざりしもの今日に於ては作付反別十二萬一千町步に增加せると共に改良種作付反別は四萬八千町步に達し米產額七十七萬六千石より百四十八萬二千石に、麥產額十五萬九千石より四十萬一千石に、棉は千二百町步八萬六千貫より四千三百町步三十六萬六十貫に躍進し生產總額に於て千二百五十萬圓なりしもの三千七百四十萬圓、即ち約三倍を算するに至りしは注目に値す可し、又た之れを本道經濟上の中心地點たる群山港に於ける貿易額に就て見るも輸移出入は百六十三萬圓より八百八十萬圓に進み著しき發達の趨勢を示し居れるが如き以て如何に本道經濟力の進步しつゝあるかを窺知するに足る可し。

扶餘に遊びて（二）

山縣生

五年前に扶餘を訪うた時には京釜線芙江より、小舟を傭して錦江を下り、公州に一泊して、翌日再び錦江を下つた、歸途には扶餘と公州の間八里を步み、公州に一泊して翌日馬背に由りて鳥致院に出て、其處より汽車にて歸京したのであつた、今回は鳥致院にて汽車を捨てゝ、自動車にて、坦々砥の如き道を驅り、午後四時早くも目的の地に着して、名勝蹟を觀賞することが出來た、翌日は人車にて論山に出で其處より汽車の便を借りたのである。

新政五年間に於ける朝鮮の驚くべき進步は、今回の共進會によりて遺憾なく示されたが、余は此度扶餘に遊んで、五年前の旅行の困難を憶ひ起して、之を今日の安樂に比べて、並の言ひ方ではあるが、隔世の感があつた、五年前の往路には錦江を舟にて下りしが故に、足を勞する事なかりしが、公州より扶餘に行く路に一日を費した、歸路には八里の路を步み、然も其日は十二月の末で多少の風雲ありし事とて旅行の困難は一通りに非ず、唯汚穢なる酒幕に泊ることが厭さに無理に徒步旅行を續けたのであつたが、早朝扶餘を出發せしに拘はらず、公州に辿り着きしは夜に入りて後であつた、翌日公州より鳥致院に到りし際も朝鮮馬に乘りて、泥濘の路を行く苦痛は今猶ほ忘れぬ。

然るに今回は自動車で鳥致院を正午少し前に出發して一時過ぎ早くも公州に到着し、ゆる〳〵午餐を取りたる後出發して四時には既に扶餘に着いた、五年前に二日を要せし距離を今回は僅に四五時間で過ぎたのである、前に通りしは道と言ひ難き惡路であつたが、今回通りしは內地にも多く見難き程の坦々たる直路で、自動車で疾風の如く之を通過する快さは言外であつた、これが僅に五年間の變化である、驚くの他はない

聞く、忠清南道は到る處道路が完全に改修され、四通八達の概ありと、其の斯くなりしは一に前の警務部長服部大佐の勵精努力の結果である、大佐はこれが爲め一時人民の怨嗟の府となつた事もあるといふ、併し交通機關の斯く發達した爲め產業やがて進步して、一般の富力を增加するは期して待つべく、大佐が彼等に頌德せらるゝの秋は遠からずして來るであらう

本日朝刊共附錄六頁

播州別府港　多木製肥所

多木肥料

販賣希望の御方は御申込み願上候

營業種目

鴨綠江製材無限公司概要

各種製材並販賣
各種製函並販賣
原木の賣買
各種製材賃挽

工場所在地　滿洲安東縣六道溝　第一工場　第二工場

鴨綠江製材無限公司

出資代表者　鴨綠江採木公司理事長林學博士　村田重治
鴨綠江採木公司理事　錢[illegible]爲
出資者　大倉喜八郎
業務擔當者　式村茂
監査役　井坂直幹
監査役　近藤錦太郎

拜啓株式會社安東縣大倉製材所儀開業以來業務日增に發展致し常に御註文輻湊の爲め日夜作業しつゝも尙ほ追はれ勝の盛況に達し候事是れ偏に御厚容の賜と深く感謝候
然るに時勢の進運は日に月に需要の激增を促し到底現狀態を以て之に應ずる能はざるを以て今回大倉製材所を解散し鴨綠江採木公司と大倉喜八郎との合資と致し新たに鴨綠江製材無限公司を設立致し是に大倉製材所の事業一切を繼承し本日より營業開始仕候
[illegible]
追て御用命の有無に拘はらず御遠慮なく御照會被下度迅速に見積書提出可仕候
大正四年十月一日

滿洲安東縣六道溝
鴨綠江製材無限公司
電話番號（四五一）
發電略號（オ）又ハ（オセ）
振替貯金口座（大阪二六九四）（大連四二三）

朝鮮總督府諸官廳　受驗講義錄　十ヶ月卒業

六冊全部完結壹圓八拾錢附錄一冊拾錢外に郵送料合せて十四錢特製二圓五十錢附錄二十錢郵送料合せて十四錢

去る八月の文官試驗及第者の多くは本講義錄研究者なり以て本講義錄の眞價を知るべし

今回更に民法と八月擧行の試驗問題を附錄として發行せり

本講義錄研究者にして特に此附錄のみを希望する人にも之を頒つ

京城旭町二丁目　朝鮮雜誌社內　朝鮮斯文學會

日韓瓦斯電氣株式會社製品　コールター　特約販賣　巴商行
龍山漢江通八番地　同　樋口米太郎

鎮鑛其他鑄造製作　久保田鐵工所代理　工場　電話四二四番

電氣用品工事設計請負　中村製作所代理　京城明治町二丁目　同支店　電話一四二五番

受驗者獨習者の良師

數學三大講義　算術　代數　珠算

通信教授の特長を悉く具備して現代講義錄中の白眉稱外の註釋各種試驗問題要事項のカード等は皆本院の創案に係り受驗者復習者の最大至寶各種の短明卒業證明懇切平易會費低廉

只今入會者會金全免　入會好機　見本進呈

東京本郷駒込林町　電話下谷一四九八　東京數理通信學院

通學生　寄宿生　校外生　簿記募集

本校は簿記學を專門に教授す

就職紹介す○夜間教科內容規則書　東京市芝區櫻川町十一番

私立　認可　日本簿記專修學校

列強大戰

▲九月戰況

英國遠征軍司令官の齎らせるミルト將軍の報告に曰くスプラソントツに於ける去月中の戰況は夜間の諸兵戰・爆彈戰家屋の爭奪戰に止まり其の結果として英軍はスブラグンの四哩に亘る全線に於て平均三百碼餘の進出を爲したり(倫敦電報)

▲佛軍突破

伯林公報に曰く佛軍の二個師團はサン、マリー方面の一地點を突破するに成功せりと(サン、マリーは獨逸皇太子軍との緊要なる交通線たる鐵道の北方に於ける下流の畔に在り)

▲獨軍逆襲失敗

巴里來電に依れば佛軍がシャンペーニュにて成功を收むるや獨軍は猛烈なる逆襲を試みたるも敗退したり尚公報に曰く敵軍は全線に亘りて激烈なる砲擊を行ひたり敵軍はアルトアに於て先に失ひたる陣地を奪還せんが爲め引續き四回に亘りて逆襲を試みたるも佛軍は全く之れを擊退したり(倫敦電報)

▲露艦隊の砲擊

アムステルダム來電に曰くコロンガゼツト紙が伯林より接受したる報道に依れば露國巡洋艦隊は目下盛んにヴァルナを砲擊中なりと(倫敦電報)

▲希臘中立宣言?

倫敦タイムスの報ずるところに依れば希臘は聯合各國に對し善意中立を宣言せんとしつゝあり(倫敦電報)

◎代表大會 組織法公布さる

袁大總統は國體變更に關する參政院の議決を採用し八日夜總統令を以て國民代表大會組織法を公布せるが大會出席者の意嚮は公然帝政に贊成せること判然せり(北京電報)

◎希臘內閣成立

雅典來電希臘新內閣成立したるが顏觸れは首相兼外相はサノイミス氏、內相グーナリス氏陸相ヤナキツアス氏海相イビオデス氏藏相ドラコウミス氏文相セストミス氏法相ラリス氏と決定す(倫敦電報)

◎會審裁判協議

日支新條約實施後兩國官憲の會審を要する事件多數なるに由り段上將軍より日支會審裁判所設立を電請せるが北京政府も其急設を必要とし協議の爲め鎮南浦警察署長に上京を命せり而して氏は十日出發す可し(奉天電話)

◎特派支那大官

朝鮮共進會に特派の支那文武大官は北京農商部次長以下八名奉天張將軍の派遣に係る參謀長以下十一名吉林張參謀長以下六名にて總員二十五名十五日奉天に會合して出發す可し往復日數は約一週間の豫定なり(奉天特電)

◎閑院宮御歸京

畏き御沙汰に依り去月二十三日東京御出發、始政五年記念朝鮮物産共進會に臨ませられたる閑院宮同妃兩殿下には九日午前八時四十分御恙なく東京驛御著御歸京あらせられたり(東京特電)

◎御眞影下賜 朝鮮へは五十五枚

天皇陛下御眞影は八日波多野宮相より謹製中の七百四十八枚を各宮殿に對し下賜せられたるが皇族殿下を始め奉り大勳位、親任官並に各小學校へは諸次第次回に御下賜相成ることゝなれり、尚ほ朝鮮總督府に御下賜の分は五十五枚なり(東京特電)

◎海軍將官賜餐

海軍將官會議列席の爲め上京中の各將官は九日午前十一時參內加藤海相侍立の上各管下に於ける狀況を伏奏し次いで天皇陛下には千草間に出御あらせられ東伏見宮依仁親王殿下伏見若宮博恭王殿下と午餐を共にせられ同時に井上東郷兩元帥以下各將官に陪食仰せ付けられたり(東京特電)

◎大學案と帝大

文部省より帝國大學に向つて諮問したる大學案に對する答申案は七日高田文相の手許に到著せし由なるが該案に對しては多少研究の餘地あれば今度大學の方に於ても研究す可く文部省に於ても猶ほ調査せられ若し修正ありたる場合は其修正案を更に諮問せらるゝとの意見を記し第二の帝大並に高等學校年限短縮に對する諮問に對しては大學年限は此の上短縮の餘地無し但し高等學校は短縮の餘地なきにあらざるも之れ亦調査の上に讓るといふに在り(東京特電)

◎大隈首相西下

大隈首相は京都、奈良、畝傍、山田其他各地に於ける御大禮準備視察檢分の爲め九日午前八時二十分東京驛發汽車にて西下せり(東京特電)

◎奉天歡迎宴 兩氏

九日午後六時殺張中村兩前滿鐵總裁歡迎宴を官民聯合にて電氣營業所樓上に開く(奉天特電)

◎名古屋觀光團

名古屋新聞社主催の朝鮮滿洲廻遊團體五十二名は十一日名古屋出發十三日釜山著十四日午前六時廿五分著にて入京の筈なり一行の視察日程左の如し

▲十一日 午前十時名古屋發
▲十二日 午前八時十分下關著、午前十時十分連絡船出港、午後九時四十分釜山著一泊
▲十三日 釜山見物、午前十時三十分發、大邱午後一時十八分著見物、午後五時四十分發
▲十四日 午前六時廿五分南大門著、共進會見物
▲十五日 京城滯在東拓及各所視察、自由行動
▲十六日 午前九時十分南大門發、途中開城見物、午後十時卅四分平壤著一泊
▲十七日 平壤見物午後三時三十分發、
▲十八日 安東縣午前十時四十分發、午後六時三十五分奉天へ

◎商議聯合大會 朝鮮、內地、滿洲聯合懇話會

朝鮮商業會議所聯合大會及び全國商業會議所並に朝鮮滿洲實業團聯合懇話會は十三日より十六日迄開會す可く內地よりは東京商業會議所會頭中野武營、大阪商業會議所會頭土居通夫、京都商業會議所會頭濱岡光哲、名古屋商業會議所會頭鈴木摠兵衛氏其他五十餘名出席の筈なるが其日程左の如し

▲朝鮮聯合會 十三日、午後一時開會式、一主催地會頭の挨拶二聯合會長及び副會長の選擧、三議案整理委員選擧、閉會、十四日午前十時開會、會議、正午休憩、午食、午後七時會議、閉會(日本人會議所)

▲全國懇話會 十五日、午後二時開會式、一主催地會頭の挨拶二座長選擧、三座長の式辭、四寺內總督の祝辭、五來賓祝辭、六懇話會、七講演會、午後六時晩餐會 十六日、午後九時共進會觀覽、協贊會の招待會

◎通俗講演會 東洋協會主催

東洋協會の通俗講演會は九日午後二時より京城ホテルに於て開會せられ聽講者多數にて法學博士山田三郎氏は『同化政策の第一義』と題して日本の植民地政策は自ら他の列國とは事情を異にするものあり殊に朝鮮の如き一衣帶水本國と近接し且つ均しく同一の國民たる處に在りては同化政策は統治の第一義なる所以を細說し我が國民性の缺點を指摘し今や我國の政治社會と謂はず經濟社會と謂はず缺陷の夥しきの時他を導かんとするには先づ自らを導くを要すと一時間餘に亘り明確熱心に說く所あり次に小松原會長は挨拶を兼ねて所感を述べ東洋協會の通俗講演會を開くに至れる次第より朝鮮開發の順序なる事將來益々東洋に飛躍すべき帝國民の責任の重く使命の大なるに說き及ぼして最も痛切なる所論は聽衆に感動を與へ四時散會せり當日は德富猪一郎氏の講話あるべき筈なりしが時間の都合にて已を得ず中止せしは聽衆の頗る遺憾とせし處也

因に同協會の通俗講演會は今後各地に催ほし我國民殊に一般青年の爲めに植民思想を喚起せしめ進んで植民事業に盡力し帝國經濟の發展を圖り國運の伸暢に貢獻すべき元氣を作興する爲めに成るべく一般に我が植民地の事情を周知せしむる事とし今回朝鮮大共進會開催を機とし久留島武彥氏を特派して朝鮮に於て幻燈映畫の材料を蒐集せしめ今後朝鮮の實狀を大に內地人に紹介する筈なりと

八年目に觀た朝鮮

小松原英太郎氏談

寄る年波は爭はれぬものであつて、八年目に朝鮮の土を再び踏んで見ても全く往年の面影が記憶にない、第一釜山埠頭の光景などは到底想像がつかぬ程の發達である、自分が忘れたのでなく餘りに發達の程度が速であつたためであらう、沿道の山河にしても山は茂り河が整ひ農作物の如きも內地の二三地方を除くの外は朝鮮の方が遙かに進步して居ると思ふ、八年前には農作物らしい農作物とては殆んど無く野生のものと少しも違ふ處がなかつた位であつた

▲三府五市と比較 京城に於て見ると一層其感が深い、南大門驛(公園南十)が京釜鐵道の終點として居た時分には南大門驛に著いても何處が道やら溝やら足の踏入るゝ餘地もないと云ふ位不潔な處であつたが阻なとして十五間幅のタール道路が開通した今日では內地の三府又は五市と比較してそこに何等の遜色がない樣に發達した、田園に水利灌漑の便を開いて農作物の改良を圖ると同樣道路の開鑿を行つて交通に便すると云ふことは其地方の發達を促進する上に甚大の効果があるものである

▲常識が發達した 教育の狀況に就ては未だ實地の視察を遂げないけれども普通學校又は其他甲種程度の學校にまで農業實習科を設け或は簡易なる農業補習の機關を設備して鮮人に適切なる實業教育を施して居ると云つてよい、更に之れを進めて居る一事は內地の教育より一步を進めて居ると云つてよい、單に學校教育のみとは云はず一般の鮮人に種々な常識の發達を來したことは著しいもので現に今回の共進會に於ても觀覽のため入場した鮮人が通り一遍の見物にあらずして一々統計表などを筆記して居るのを見掛けたのは甚だ賴母しい次第である

▲本國民の後援 空前の大共進會に出品した鮮人の手に成つた各種の農產品又は製造品が長足の發達を來したことは多くの鮮人を驚かしたが更に他道のものと較べ內地の參考品と對照して其優劣を眼前に目擊し今後一層の奮勵努力を要すべき餘地の存在することを覺知したと信ずるのである共進會は啻に鮮人の智識を啓發したるのみならず此機會に多數の內外人の渡鮮したことも亦非常な効果があつたと云はなければならぬ、就中多くの內地人が植民地の情勢に通せざるために比較的冷淡であつたのであるが實地を見聞して彼等は少なからず得る所があつたと思ふ、是を以て植民政策に取りて最も大切なることは產業の獎勵、教育の普及等と並んで本國の人民が常に植民地の盛衰興亡に留意して居ると云ふことが更に一層大切なのである之れを本國人民の後援と云ふでもあらうか之れに次ぐは健全なる新聞紙の存在して植民政策を助長することである此點は京城日報に甚大なる嘱望を抱いて居る

◎仁川九月經濟狀況

▲金融 厄日二百十日は南鮮方面に於て多少の被害ありたる外一般に何等の影響なく米價は厄日前後に於て小波瀾ありたる外依然下落一方にて更に活況を呈するに至らず從つて輸移出方面に於ては前月にも增して不振を呈したりしも輸移入品は農作見越と銀塊高とに依り其の大宗たる綿糸綿布の騰貴せるありて輸入も幾分增加せしを以て前月に引續き相當活氣を呈し旁々多少ら資金の需要を喚起せるが如かりしも要之金融の大勢は依然閑散を繼續せり恐らく來る可き冬物仕入時期を待つにあらざれば到底繁忙を感ずるに至らざる可し

▲物價一般狀況 米は天候好順なると第一回作柄豫想發表等四圍の事情總じて弱材料のみを以て滿されて月初忠淸道外改良米は九圓四十錢見當を唱へしも內地關西中國筋暴風雨被害甚大なるを傳へ出廻薄なると產地商と相呼應して氣勢一變久し振りに活況を見るに至り中旬九圓六十錢に引返せしも米界の三大厄日も無事に經過し最後の大關たる彼岸秋日和も格別案ずる程もなく期米は益々崩落を重ね折柄產地よりの安報を齎す等遂に正米碎けとなりて月末八圓八十錢見當にて大勢は依然軟弱の裡に越月せり大豆は責行減少に伴ひ少しく活氣を催し稍引締りたるも僅に當用口を補充しつゝ新物待の姿にて大なる變動なく牛皮は軍需品注文に依り十圓餘の昇騰相場も民間同業者の手出するに伴ひ底意一層氣尖を

豫告

桂公と帝國主義 德富猪一郎氏口述

德富猪一郎氏は昨九日東洋協會の講演會に於て午後二時より表題の如き演說をなす豫定なりしが協會の都合にて時間の變更あり然るに德富氏は前日より重要なる用務の爲め午後三時他に訪問の先約を爲し居たりしかば遂に氏の演說を聽くを得ざりし次第なり聽衆諸君の失望は言ふまでもなく德富氏に於ても頗る之を遺憾とし其腹稿を明日の本紙上より數日に渉りて掲載せらるゝ事となれり諸君之を諒せよ

◎藥學大會講演會

第三回朝鮮藥學大會は十日午後一時より永樂町研究會講堂に於て總會を開會の筈なるが當日の講演左の如し

▲朝鮮の『ヨード』製造業に就て 大和字吉 ▲朝鮮藥業[illegible] ▲[illegible] ▲[illegible] ▲[illegible] 小田制三 ▲[illegible] 上田保 京城[illegible]

◎大東法校卒業式

私立大東法律學校第四回卒業式は九日午後四時より北部嘉會洞桂雲亭に於て擧行せられたり校長子爵趙重應氏開式を宣し李寧夏氏學事報告を爲し校長は卒業生に夫々證書を授與し子爵趙重應氏は卒業生一同に對して一場の訓辭を述べ中野保安課長、具警務官、京畿道學務主任の祝辭並に注意あり卒業生總代申覺均氏の答辭ありて式を終りたるが卒業生は左の十二人也

吳義善、鄭樂鵬、韓基弘、羅稷建、成燦、金永純、崔七煥、黃鼎益、閔丙烈、朴性稷、李弼求、申覺均

◎大阪より

▲大阪毛糸計畫 大阪財界第一流の某々氏等は今回毛糸機業を計畫すべく調査に著手し同志間に種々協議中なる大體の意見は刻下一般毛織界好調の機に乘じて企業する事に內定したりと云ふ而して資本額は設備上の程度に依ること勿論なれども先五百萬圓として十萬株に分ち內四分の一の拂込を以て操業を開始する裝置をなし原料羊毛は濠洲等より直輸入せしめて之れを糸に紡ぎ一般毛織物の資料に供する筈にて不日發表を見るに至らん

▲信管大口注文 大阪福島の某鐵工所は陸軍造兵廠より砲彈用信管の大口注文を受けしを以て在來の機械其他增設の必要ありて調査の結果今回更に先づ旋盤五百臺を据付くる事に內定し之れが完備と共に從事する筈なるも尚ほ他の鐵工所に對しても分割製造を託する都合にて其注文額は今日の處未詳なれども頗る多額の模樣にて全部の製品納附期は明年七月中なりと

▲紛擾解決曙光 八月限分當舖ESB受渡紛擾は既報の如く鈴木商店よりの請求に受取方の容易に承諾すべくも非ず終に八日を以て競賣に附せらるゝ迄に至りたるが斯くては受渡兩者とも不利益なるより矢野藤田兩氏居中調停を試むべく奔走中なれば久しく紛擾を告げたりし同問題も近く解決の曙光見えたりと

▲軍絨引受成立說 今回露國より注文ありたる軍絨三百五十萬碼の納入期は來月より向ふ六ケ月間なるが各製絨工場共冬物其他にて非常の多忙を極め居れるも大體に於て左記の割當にて引受著手する見當にて契約成立せりと
△東京毛織九十萬△日本毛織百八十萬△東京製絨六十萬△後藤毛織三十萬

人事消息

▲水谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 九日入京浦尾旅館へ投宿
▲廣瀨耕治氏(共同火災保險會社支配人) 同上山本旅館へ
▲南熊次郎氏(實業家) 九日入京天眞樓へ
▲山本實彥氏(東京新聞社長) 同上
▲小林正作氏(東京每日新聞社長) 同上

日本の家庭博

▲入場無料(東亞煙草を買つた人は) 朝日なら二ツ、大和、敷島、武藏野ならば一ツ

▲變裝美人探し(午前午後夜間)賞金十圓宛 午前朝日孃午後大和孃夜は敷島孃を捕へなさい

▲久留島先生お伽講演(午後四時) こんな面白いお御話は又と聞く事は出來ません

商況
大阪期米特電(九日)
仁川米豆取引所
▲休日明け如何

京日案內

◎普通 一回前金三十錢(一行十五字詰)

▲普通 乃木餅 茶菓子代用 中飯 燒菓御 本町壽館前 電二七五三番 乃木餅屋 693

◎上女中數名採用 廿三四以下希望者至急本人來談あれ 壽町四十番地(日の出町裏通) 京城クラブ 701

◎給仕使人 十五六歲の內地人採用す希望者自筆履歷書携帶至急來談あれ 京城大和町 朝鮮公論社 706

◎小僧用入 十四五歲の者四五名身元確實なる保證人要す希望者至急來談 本町二丁目 丸一吳服店 700

◎店員入用 年齡十七八歲より廿歲迄採用 委細來談あり度し 龍山鐵道橋內電車移動 遠星商店 698

◎番外 一回前金五十錢

◎開業 高等下宿 各室清潔 共進會期中特に大割引仕候 京城長谷川町 朝鮮ホテル前 中京館 金澤 718

京城明治町二丁目 宇治蒸菓 本舗小路入 二遠重堂 717

◎造花卸 造花原料 各種 販賣 京城南大門側漢陽公園上り口 青沼忠榮 716

古着古道具類並に拂下品 御一報次第直に買受候 黃金町三丁目 電話二四三四 四宮商店 715

◎京染萬染物所 御預品は確に取扱迅速に御屆仕候 京城旭町七 出張所 清水堂 713

濁酒は(三)に限る 行商人多數募集す 龍山驛前三 電話三〇 丸三酒場 642

聖行館 明治町ヤソ教會となり 館主 岡村介石 666

◎寫眞 技術優秀 夜間撮影 調製迅速 龍山漢江通 電話三五九 畠田玉川堂 668

◎清酒 一升二拾八錢 御用命次第迅速御屆申候 京城蓬萊町 電話二四一九 長野商店 669

好職業 新案美術商品優美ゴム製品以上志望者郵券十錢送れば營業案內無料傳授 京城大漢門前 大陽ゴム商會 681

◎はねつぎ うちみくじき等一切の治療御依頼に應す 明治町 柔術道場 685

◎移轉 名灸 今般都合に依り左記へ移轉す 京城黃金町三丁目十五番 水標橋通り入 利光キク 692

恩給年金類立替 京城若草町一丁目一〇六 井出郵便局內 電話二二六三番 西村商會 712

◎旅館開業御披露 閑靜にして眺望佳絕 京城南大門臨漢陽公園通り 電話二一二九 營業主大原松次郎 漢陽旅館 626

恩給年金類立替 京城永樂町二丁目四十四番地 商品陳列館前 電話八〇三番 江州屋 709

◎前途最も有望なる製造業 主人歸國至急讓渡し要資三百六拾圓 利益月百廿圓以上 南大門(西北三一)丁目(今本醫院隣)福富理髮所方 690

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 708

永樂町商品陳列所の上 皮膚病花柳病專門 須古醫院 電話二二〇三番 566

◎マッサージ鍼治灸點 特得治療 胃の痛み腹痛赤痢虎列剌の豫防灸 神經痛其他一般の病は一二回にて直ります是余の特得たる處なり 京城府廳前橫入 電話一八七八 一陽堂 616

◎かぜぐすりに百種あり 第一カゼピリン 627

九月二十九日官報第九百四十八號(朝鮮總督府官報十月五日第九百五十一號轉載)大禮使彙欄揭載即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ノ當日(十一月十六日)地方ニ於テ饗饌ヲ賜ハセラルル諸員中第一項ヨリ第十八項ニ至ルマデノ各項(即チ左記ノ者等)ニ該當スル者ニシテ即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀並ニ即位禮及大嘗祭後大饗夜宴ノ儀ニ召サレタル者ヲ除ク外ハ其ノ宿所氏名並當該資格屆出方大禮使ヨリ十月二日官報第九百五十一號(朝鮮總督府官報十月七日第九百五十三號轉載)廣告欄ニ廣告セラレタルニ付當府管內居住ノ各該當者ハ本月十日迄ニ直接京畿道長官宛屆出ヲ以テ屆出ラレタシ若シ此屆出ヲ忘ルトキハ饗饌ヲ賜ハサルヘキ恐レアリ深ク注意セラルヘシ

一 高等官
二 高等官待遇
三 有爵者
四 從六位勳六等以上ノ有位帶勳者
五 藍綬褒章受領者
六 綠綬褒章受領者
十八 在職判任官二等以上

大正四年十月七日 京城府

購買入札公告
一 鐵線類クレオソート油及雨具四件
一 詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正四年十月十日 朝鮮總督府遞信局

生徒募集
中學校入學受驗準備科來ル十一日ヨリ開始。教授時間自午後七時至九時
大漢門前 英漢數學義塾

到處酒醬油店に有
開業三百七十年 醸造元 濱口儀兵衛商店 千葉縣銚子港

大共進會

天下の山水金剛山のみ
末延道成氏の探勝談

東京の末延道成氏夫妻馬越恭平氏夫妻古市公威氏佐賀田男爵夫人等の一行は鐵道一千哩視察會に列席した後、金剛山の奇勝を探つて八日歸京した、末延氏は夫人同伴九日の午後家庭博を來觀せられ茶室に入つて見て來た金剛山を語つて曰く、金剛山の名は久しい以前から聞いて居たが其實際に[illegible]とは思つて居なかつた、所が實際に金剛山の

▲奇勝を探つて 見て驚いた 金剛山を除いて天下に山水なしと斷言するを憚らない私は随分旅行好きで日本の日光から名義山から其他北海道の雄大な山水を探勝した、亞米利加のナイヤガラ、ロツキー山から歐洲の勝地も隨分尋ねて見た世界の勝地と稱せらるゝ場所に遊んで多くの名勝を探つて見て自分では天下の勝地は先づ大抵探つたつもりで居た、今度金剛山に登つて見た所、今迄の頭の中に殘つて居た

▲天下の山水は 皆消え去つて終つた、實に金剛山は世界の奇勝で、什麽景色だなんて聞いたつてアノ景色が口や筆で云へたものではない、一言にして曰へば『金剛山の他に山水なし』だ、一度金剛山の前に出たら世界第一の奇勝で金剛山の前には山水なしだ、其れから京元線の風光の明媚なのにも驚いて舌を卷いたが明日は岩崎男爵が來る筈だから大に金剛山の探勝を勸め樣と思つて居る」と激賞する、同席の柴田家門氏も餘程金剛山探勝の氣をそゝり立てられて居た模樣であつた

日曜の大共進會
評判の大寶探し=天勝一行の乗込 賣店の大賣出し=素晴らしい賑ひ

明十日の日曜日は「大寶探し」と天勝の乗込みと、その初日と、賣店の大賣出しと三つ揃つて共進會開場以來の大賑ひを見るであらう、いや其上に夜は例の仕掛花火まである、大寶探しは午前九時三十分の開始で協贊會事務所の裏から賣店の通路を興業場に至る一圓の地域に十二等まで

▲二千餘點の寶が隱されて居る、その場所には『此處より寶あり』の立札が方々に立てられて探寶者を導く、その寶品は一等が米一俵に箪笥、二等は緞子布團五枚と銚臺一個、三等クラブ化粧大箱三個、四等鐵瓶、衣裝盆、火鉢、陶器、五等庖丁類一切、それから十二等まで全額で數百圓に達するもの、その

▲締切が午後の二時 で其れまでは何程でも探し得て二時締切と同時に慶會樓の階下で賞品の授與が行はれるのである、誰れか當日の福の神とは爲るか、けだし近來の見物であらう、一方當夜から演藝館でいよいよ開演する

▲松旭齋天勝孃 一行は午前十時南大門に集り、滿飾を施した腕十人の旗手、音樂隊に取圍まれて南大門通りを本町に出て黄金町から鐘路を經て十二時半までに共進會場に繰り込み演藝館に乘り込む、それから慶會樓で各新聞記者、通信記者、協贊會各役員、其の他關係者との盛んな顏繼ぎ會を開く、夜は午後六時演藝館開場、七時開演、例の京阪東京等で大人氣をとつた魔術入りの『サロメ』からダンス、神秘不可思議の大奇術喜劇等を十時まで濡無しで演ずるといふので料金は特等一圓、一等七十錢、二等五十錢三等三十錢谷

▲賣店の大賣出し は當日から向ふ十日間、店頭を思ひ〳〵に裝飾して大割引、大景品付で顧客に滿足を與へようといふ趣向、その賑ひと大繁昌は云ふまでも無かる可く、尚ほ當夜の

▲煙花は、例の如く午後九時から慶會樓畔の池中で三河獨特の妙技『花嵐』と『始政五年』『群蜂花園の戯れ』三種を見せる

伊帝負傷

伊太利皇帝は戰線視察中其乘馬敵彈に觸れて負傷せり但し皇帝は自若たり(倫敦電報)

鵬翼一搏 陸軍大飛行開始

數日來の風雨に髀肉を撫しつゝありし陸軍大飛行は九日午前六時四十五分伊庭中尉のモ式二十八號を先登に川上中尉の二十六號、長澤中尉の二十七號、武田中尉の二十五號を殿とし順次第一著陸場たる大田原に向つて飛翔し八時三十分伊庭中尉は無事大田原に著陸し川上、長澤兩中尉は何れも飛翔約二時間にして無事著陸したるが殿を承りし武田中尉は途中發動機に故障を生じ栃木縣上都賀郡衣村に著陸したるが操縱者及び機體には何等の異常なし(東京特電)

水上飛行は愈今日から

仁川月尾島で行ふ水上飛行は愈々十日と十二日の兩日やることになつた

▲十日と十二日共午前午後數回の飛行を爲す事で煙花を合圖に初まるのであるが若し天候不順であつたならば煙花が上らぬ事になつて居る

肉の悲劇
共進會に出演す可き天勝のサロメの筋書

此劇は英國の詩人オスカーワイルド氏の傑作で材を舊約全書馬太傳中から採つたものである、兄を殺し其妃ヘロヂアスを己れの妃として猶太の王位に上つたヘロドは兄と妃との間に出來た王女サロメの

▲姚娜たる姿に 道ならぬ心を寄せて居つた、此王の仇讐である今王の不義の穢れた血を承けたサロメは燃ゆる樣な情熱の中にも何處にか殘忍な影が宿して居つた、當時此宮にヨカナーンといふ預言者が囚はれて色々と不吉な豫言をひふらした、王は非常に之を厭ひ十二年間も幽閉して置いたと言ふ城下の

▲古井戸の中に 豫言者を拘禁した、一夜城中で羅馬皇帝の使節を接待する酒宴が張られた、丁度其夜の出來事である、宴席を逃れて庭に出たサロメは圖ずも井中より洩るゝ豫言者の透徹たる聲に聞き惚れて急に之が見たくなり、當々自分を戀して居る近衛の士官ナラボスにやさしい言葉をかけて到頭豫言者を井中から引き出さしめたサロメはヨカナーンの骨麗なる肉體を見るに及んで忽ち熱烈なる戀愛の擒となり強て其口に接吻せむことを要求した、豫言者は侮蔑の眼を以て之を斥け再び井戸に姿を隠しナラボスは責任を怖れ失戀の結果自殺した、そこへヘロド王は妃のヘロヂアスと共に現はれ酒宴の機嫌でサロメに

▲舞を所望する 妃は之を制し、サロメも之を拒んだが、王が望みのものを何んでもやると誓ふに及んで終に其意に從ひ素足素肌で舞踏することゝなつた、さて舞踏が終んでからサロメの要求したものは何んであつたか、黄金にあらず、寶玉にあらず、王の尤も怖がつて居る豫言者の首であつた、王はそればかりは之を許さず品をかへてなだめたがサロメは頑として聞き入れないので終に豫言者の首を斬つてサロメに與へたサロメは其首を抱いて心ゆくばかり接吻したが流石に殘忍なる王も目の前に此狂態を見て大いに怖れを催し兵士に命じてサロメを殺して終ふと言ふのが大體の筋である

入場切符は便宜上稅關棧橋の處でも賣る事になつて居る

馬賊頭目欒六殺害せらる

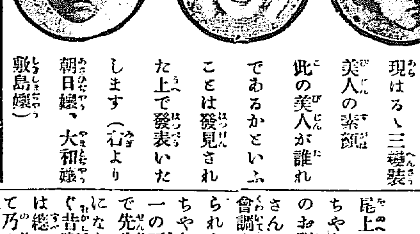
多年鴨綠江上流に蹯踞し常に官兵をして奔命に勞れしめたる馬賊の大頭目欒六は今夏以來寛甸、城廠地方にて盛んに掠奪を行ひ居たるが當時之が討伐に向ひたる歩隊第二營右哨官郭雲峰の率ゐる部下兵卒の内三名は武器携帶の儘賊徒の群に投じたるが其後討伐隊の勢優勢にて搜査嚴重を極めたるに依り賊徒は四方に散亂するに至り一時は優勢なりし欒六も僅かに少數の部下と共に鳳凰城を距る二百二十支里の邊溝と稱する山中に蟄伏し今日に及べるが逃走兵三名は欒六を殺害して官憲の賞與に預からんと共謀の上愈々茲に殺意を決し本月六日午後七時頃折から人なきを窺ひ見事欒頭目を殺害し其首級を原隊なる歩隊第二營郭哨官に呈せるに依り右哨官は七日中に遼陽す可き旨鳳凰城支那官憲へ報告ありたる由なるが支那側のことなれば其眞僞は未だ判明せず(安東縣)

共進會場內東亞煙草會社廣告塔

家庭博覽會

盛だつた昨夜の家庭講演
久留島先生も御出演面白かつた久留島先生のお伽噺と有益な綱島先生の家庭講演

九日の晩家庭博の後庭で開かれた家庭講演會はそれは〳〵大變な盛んなものでした、丁度講演の始まる前に仁川小學校の生徒諸君が來觀して講演を聽いて行うと云ふ所へ久留島武彦先生が家庭博を見に來られましたので特別に一席の講演をお願しましたすると久留島先生の云はれるには仁川は十年前私が鐵砲を擔いで居た時分初めて上陸した記念の土地でしてそこの子供衆が見えて居る事だから突然だがお話をせうと快諾された、後庭に設けられた演壇の上に本社の監督徳富蘇峰先生が久留島先生を御紹介になると前に並んだ仁川の小學生は云はずもあれお父さんやお母さんに連れられた坊ちゃん孃ちゃんは可愛い手を叩いて久留島先生を歡迎する、今夜の久留島先生のお伽噺は何れ機會を見まして紙上で御紹介します、大體をかい摘むと馬と犬と猿と人間の年のお噺で先生の明晰した口調で面白くお話になるのですから生徒の喜びは譬へ樣のない位で面白い時に我れを忘れて小さな手で喝采をする、先生の御伽噺は面白い内に教育と云ふ事を含んで居ますからお終ひには馬や犬や猿の取締りをする人間=諸君は今から立派な人間になるのですから勉強せねばなりませぬ、と面白い内に自然に勵まされて小供衆は大喜びでした、久留島先生のお噺が終りますと今度は綱島佳吉先生の講演、此時にも徳富先生の御紹介がありました、綱島先生の御講演は『圓滿なる家庭』と云ふのでありました、圓滿なる家庭を作るに就いて最も有益なお話で之れは是非共詳しく御紹介いたしますがその大要を摘みますれば圓滿な家庭を形造るに就いて良人の妻に對する心得、妻が良人に對する心得、老人と小兒に對する心得から下女に對する心得を詳しく例を引かれて懇々と一時間以上に亘つてお話しになりました、此夜は珍らしい晴れ〴〵とした、秋の綺麗な夜の空には一片の雲もなく燦々と星の輝いた夜でしたから御婦人の聽講者が非常に多く滿場立錐の餘地もない盛況で何れも熱心に謹聽して居られた、此講演の後に御婦人方の内には少からず啓發なされた方が多かつたものと思ひました、十日も午後四時から久留島先生の御伽講演をお願ひする事になつて居ります



本日の家庭博に現はるゝ三變裝美人の素顏 此の美人が誰であるかといふことは發見された上で發表いたします(右より朝日孃、大和孃、敷島孃)

お伽講演
十、十一の兩日家庭博にて久留島先生講演

尾上新兵衛さんと云へばお伽噺で坊ちゃん孃ちゃん方が久しい以前からのお馴染みでせう、その尾上新兵衛さんの久留島武彦先生は今度東洋協會調査部の囑托を受けられて入京せられました、此機會に於て京城の坊ちゃんや孃ちゃん方の爲めに十、十一の兩日午後四時から家庭博の後庭で先生のお伽講演をお願ひすることになりました『お伽噺』と云ひますと直ぐ昔噺を聯想しますが久留島先生のは總てが家庭教育を土臺としたもので乃木大將の幼年時代など聽いて面白く而して其れが直ぐ爲めになるお噺許りであります日本に居ても滅多に聞く事の出來ぬ講演ですから坊ちゃん孃ちゃんは此機會を脱さず御聞きにお出で下さい

昨夜の家庭博講演會
(右)久留島武彦先生
(左)綱島佳吉先生

大阪三品特電

▲九日前場 九月限 一一七、六〇 一一八、四〇 十月限 一一八、七〇 一一九、〇〇

▲九日後場(確報到着無し)

寄付	一一、八二	一二、一二	一二、四三
高値	一一、八二	一二、一七	一二、四七
安値	一一、八〇	一二、〇八	一二、三三
止め	一一、八〇	一二、〇八	一二、三三

▲九日後場 東洋拓殖 六七、五〇 日韓瓦斯 四二、三〇 朝鮮銀行 一三九、三〇 朝鮮瓦斯 [illegible] 南滿鐵道 [illegible]

▲後場の商戰 [illegible]押さず四錢と交へて散會 石賣今七百石賣計九百石賣七百石買へ千二百石 買退くてふ掛引の商內多きに依るならんも大阪 けりさすれば最早大擧昻上の[illegible] 大底な作り本月二番底なしたる[illegible] 賣に安値を受けて不勞に陷つた目北部內と見るべきるな見得べく押目は買の外[illegible]

十一月限 二萬四千五十石 十二月限 一萬四千五十石

共進會の餘興
大寶探しデー
▲十月十日(雨天順延) 午前九時三十分開始 午後二時締切
▲場内興行場より各賣店通路附近の地域内に於て
▲寶の種類 一等拾圓、二等八圓、三等五圓、四等參圓、五等貳圓、六等壹圓以下十貳等迄二千點總價格數百圓
▲詳細の事項は場内に掲示す
京城協賛會

浪界の泰斗
吉田奈良丸來る
仁川歌舞伎座
十月十一日十二日の二日間晴雨に係らず 口演日延なし
初日の讀物
▲南部阪雪の別れ
▲神崎東下り
長講二席

共進會見物
記念のお土産には共進會々場で寫眞をお撮りになるのが第一です
○會場にお來しになつた時一寸御用命を願ひますれば會場内の何處でも好い所を背景にして寫します、而してお歸へりまでにはチヤンと出來ますから共進會見物の記念としては何よりの物です
○出品物の寫眞は特に勉强いたしますから精々御用命を願ひます
共進會々場 東亞の高塔の下 エム寫眞館

登錄

御大典紀念景品券付特賣 當籤番號發表
大正四年十月二日午後一時大阪市四ッ橋旭ビーヤホールに於て帝國飲食料新聞社々長谷川五洲氏外關西北陸道地方各特約店主及同代表者御立會の上抽籤施行左記番號當籤仕候
當籤番號は既定の通り(ABCDEFGHIJ)各組共通の事
當籤番號
甲種分
一等 〇〇四四 二等 〇〇〇貳、〇〇四六
三等 〇〇五七、〇〇四五、〇〇八七、〇〇四一、〇〇七四
四等 殘り番號全部え
乙種分
一等 〇〇〇五 二等 〇〇〇貳、〇〇〇四
三等 殘り番號全部え
景品引替期限は自大正四年十月二十日至同十一月三十日期日後は無効に有之候
英國製 人形印コンデンスミルク會社

諸病治療の奇石來京
□諸病治療上卓効を有する一つの奇石は東京にて幾多患者を治療し學者醫士間に問題となり、ラヂユーム以上の何物かを含むものと認めらる
□該奇石所有主酒井猶吉氏は這般來京滯留中、病者の一端を救濟せらる
□此治療法は祈禱、氣合術等の如きものにあらず亦灸點鍼治の如く痕跡を留むるものにあらず、勿論一服の投藥をも爲すにあらざるなり
□此治療法に依て特効あるものはリウマチス神經痛腦病脚氣胃腸病子宮病等枚擧に遑あらず、殊に皮膚病齒痛の如きは速効頗る顯著なり
□治療は一日卅人を限りとし謝禮は御任意とす
□酒井氏寓居は京城旭町三丁目七番地荒木方(鮎貝氏横)
□去る六日の本紙に此奇石の記事の掲げらるゝや、難症痼疾の治療を乞ひ來りし者のすべてが僅々一二回にて其奇効に驚歎せるの事實に徴せよ

千生瓢（6）

須藤南翠作　筒井年峰畫

颶風の前（七）

『お待ちやれ、儀太夫』

一益は急いで呼び止めた。儀太夫は容耳走らして、委細構はずさつさと大股に動き出した。

『お待ちやれ、お待ちやれ。一益頼まうする一議のあるツ』

畳みかけて聲をかけられて、儀太夫は渋々元の座に復つた。

『何御用おざりまするな』

『嶺へ歸城は無用であらうぞ』

『殿の先陣仕ふまつれとな』

『いや。其部署もはや済んだわ』

『常城御留守居なりや、平に御容赦下されい』

『其も餘人が心得居る筈。参れ儀太夫、密な謀る一議があるぢや』

一益は床几を離れて、幕を褰げて奥へ行つた、海を渡る東風の矢間を潜つて、鎧の上を撫でるのが、生温く將士に感じた。

今し互ひの面を見合つた時に、左近將監一益も、儀太夫益益も、全く敵の奇計に陥つた事を悟つて、心中非常に悔恨した。嶺の城は如何に要害堅固でも、嶮に據つた山城であるから、分内も大軍を籠めるだけに開けて居ない。黒田、堀尾、小川、伊藤、一柳なんどの大軍が、十重二十重に取圍んで、援軍を阻み、糧道を断つた丈でも、幾千の籠城が續くであらうぞ。其上些しの絶間もなく、矢丸で落せかけられるので、無援の低城に籠められた兵士達も、自然に勇氣が阻喪して、落ち饌の付くのは免かれない數である。一益は之を知つて居るので、自身に馬を出して秀吉の本軍を喰ひ止め、増援の路を取り切つて、早速後巻をさせようと考へてゐた。其間を支へかねる儀太夫ではないのに、不意に本陣に歸参したのは、巧に奇策を運らされたものであらうと、咄嗟に胸に浮んだので、俄に追窮の口を噤んだのであつた。儀太夫は苦戦であつたには違ひない。落ち饌の出たがる兵士を、八方に駈け廻つて卓勵する。敵の手薄を見究めては、突き崩して英氣を鼓舞する。或は望みのない援兵が、今にも城近く來でもするかのやうに、高嶺に登つて小旗を振つて見せる。其時遙に哄然と揚げた鬨の聲が聞えた。儀太夫は異様な感がして居たが、味方は大に喜び勇んだ。敵は狼狽いて攻め口を弛めた。後でそれが、龜山を落した敵の勝鬨と分つた時には、失望よりも寧ろ口惜しく、腹立しく、城門を開いて敵を突き崩し、宮地左内、白子、郷右衛門に、散々敵を悩ませたのであつた。斯うして油断なく寄手に當つてゐるうちに、敵は[illegible]長政の新手が加はると、陣を静めて、持久の策に移つた。而して厳な軍使を遣して、城の將士は定めて一途に死を決して、城を枕に討死の覺悟であらうが、寄手は進んで之と戦ふほど、無謀な合戦は致さぬ。去りとて此儘城を重圍めて、弓矢の上の勝敗でなく、饑渇を以て身を亡させるのは、如何にも不仁の至りである。只今桑名長島とも、秀吉が大軍に押寄せられ、合戦の議の折柄なれば、城を開いて彼處に赴き、主君に力を戮せらるるが、誠の道かと存ぜらるると、詞巧みに説くのであつた。城兵が之にそゝられて、心を籠城に断つた時、桑名より使者を捕へたと稱して、其を城中へ送つて來た。其懐中に一益の親書があつたので、今は疑ふ餘地もなく、先づ城兵を出し、其身は最後に城を出て轡を擧げて馳著けて見ると、案に相違の燔燬なので、手勢引具し、秀吉の陣に斬り込み、花々しく討死を遂げようと、堅く決心したのであつた。帷幄の密議は何であつたか、儀太夫は旨を受けて、直に何れへか出馬した。櫓に登つて斥候して居た侍士が駈け下りて跪いた。

『諸方の火手空を焦しまする。風に靡く煙野を蔽りまする。先手の合戦最中かと存ぜられまする』

『火を放けたは敵か味方か、火は何方へ燃る。煙は何方へ靡く』

『はツ。火も煙も此方へ参りまする』

『確と見究めて來う』

一益は斥候を追ひ遣つた。其處へ谷崎忠右衛門の使者が來た。一益は稍不安の色を帯びた。

『やあ、矢合せは何處で致いた？』

五百年來家傳製法　一家の經濟は御臺所にあり　安くて滋養になるのは　司味噌　に限り升●電話にて御注文被下候ば直ぐ御届致し升　京城太平通二丁目　遠藤商店　電話九八二番

●御大典記念人形印及びチツスルミルク奨勵券付特賞抽籤施行の盛況　人形印及びチツスルミルク會社（チツスル及アングロスヰス煉乳會社）が提供せる御大典記念景品付特賞抽籤は、十月二日大阪市四ツ橋通ビーヤホールに於て同業帝國飲食料新聞社長谷川五洲氏及び大阪、京都、和歌山、北陸地方及び各關西地方代表者立會の上抽籤施行（當籤番號は本紙廣告欄參照）該社が商勢の向上を圖るの此壯擧を吉祥多き御大典を記念して遍く行はれ大成功を得たりと

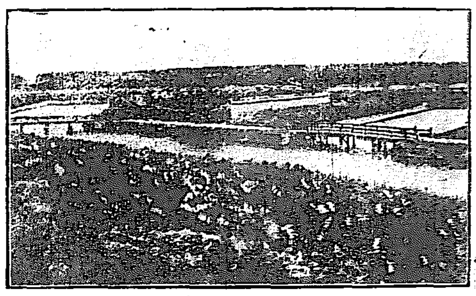
北海道より

筈舟生

■九月二十八日　車中にて

里村君机下　假寄の別れも、君に送られて麦酒を酌めば、我行に意義あり。僕のホーカー液も、君に送られて之を使へば、我旅は意氣なり。

君が紹介せられし女優の二人とは、松島にて別れたり。K子孃はなかゝの舞臺功妙にて、お陰で途中退屈するをもなかりき。一時は僕も松島に行きて見度き心地せり。



（五稜郭古戰場）

汽車の中にもホーカー液を使ふとは僕は今度初めて知りたり。君が『汽車の中で使ひ給へ』と云ひたる時は始め僕は異なとに思ひたるも、間もなく卜子孃が之を使ひつゝ僕にも奨めたるより、僕もツイ眞似して見ぬ。いかにも此柔かき匂ひ、此スベゝと爽かなる心地『僕も始て君が僕の意義あるところを知りぬ』多謝、多謝。

■九月二十九日　函館より

里村君机下　九月廿九日は白砂青松の淺虫に明けて、間もなく青森に著。例のホーカー液に洗面の心地よく、午前七時汽船田村丸の客となれり。空晴れ、波靜に、海上僅に四時間にして、給の如き函館港に入る。船の桟橋に著くや、埠頭に出迎の紳士淑女山の如く、帽を振り手巾を振りてホーカー液の香漂ふ。ハテ誰が爲めの迎ならんかと見れば、豐[illegible]なる紳士悠々と會釋して來りぬ。

青函連絡船は内地航路に尤も優れたる汽船なり。函館の船車連絡は將に之れ理想的のものなり。夜來同乘の友多くは此利便に據つて再び車中の人となるも、僕は人車を驅せて、谷地の別邸に親戚の客となる。

■十月一日　大沼公園より

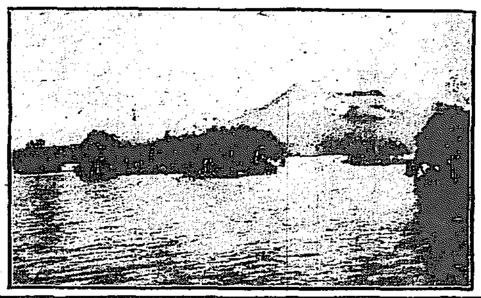
里村君机下　昨日はよく遊びたり。疾く公園を散歩し、往時の風光を賞し、直に電車にて近頃始めて開放されたる五稜郭の古戰場を弔ひ、再び長驅して湯の川温泉に至る。醉ひては醒め、醒めては醉ふ。到る所の納涼爲めなり。問ふ勿れ野暮なり。何うしてその中から送つたと、湯の川に美人あり。ホーカー一瓶を取らせて、此勞を探らす、名案かくの如し。

昨夜友人に伴はれ、小林亭に飲み函館に於けるホーカー液の全盛を聞きて、即ち斎の名案を想ひ出し、談りて花を咲かす。唯この解語の花を君に贈り得ざるなかゝに遺憾なり。

今朝函館を辞し、まづ大沼公園に遊ぶ、海拔千○百尺の山上に、周圍七里の湖水は、人工を俟たずして山水の美を盡くし、活火山駒ケ嶽を背景として、大小幾多の島影隱見す。神に旗亭あり、帆影に佳人あり、頭鳥唱へ、波間に魚躍る。誰か日本第一の稱を否なまん。

■十月二日　小樽より

里村君机下　僕は今朝小樽に來れり。旅館越中屋にて、越後の友に逢ふ。それは新潟毎日新聞の楚水君が、現今此小樽に催されつゝある衛生展覽會に來れるなり。即ち伴なはれて之を見る。



（大沼公園と駒ケ嶽）

會場に到りて、楚水君よりホーカー液の隆々たる聲價を聞かさる。思ひ起す昨年の衛生大博覽會に於て、數ある化粧品の出品中、ホーカー液が單り名譽の金牌を受領せること。東京を去りて五日、僕は今到る所にホーカー液の盛況を聞きて、折も折我れの旅路に儷せる兒の厚意の一層深きを感じつゝ之より鐵路札幌に行かむ。

◎癩病梅毒療法に付て

▲醫術の進歩に供し癩疾治療法は諸大家競て研究し内服藥あり勿論洗滌法注射法等種々立案あるも未だ完全なる結果を見ず今然るに本舗は研究を重ね幾多の治驗を經て本劑を發賣す……ルチン「ルタンゴ」並に「ホロウサエ」……

治癩藥　一週分カフセル五十個入金一圓二十錢　二週分同百個入金二圓二十錢

治癩球　一週分カフセル五十個入金六十錢　二週分同百個入金一圓十錢

◎梅毒秘密療法に付て　▲梅毒療法種類を擧ぐれば（一）六〇六號注射療法（二）水銀劑注射法（三）塗擦法（四）吸煙療法（五）各種内服法（六）浴療法……

根治丸　一週分金六十錢　擔任藥劑師中島義次　助手藥劑師渡邊力　京城南大門通四丁目　救世藥館　電話二五九三番　振替口座一二六八番　『賣藥』『製丸』『製藥』製造の依頼に應ず

胃腸最新藥　デゲスチン　胃腸疾患、食慾不進、病後の快復期、營養補給の目的にて最良の效果を奏す……血液を増し體力を盛んにす　東京本町　合資會社　圓城商店

御料理　會席　松乃家　仁川水族館正門前　共進會開期中大勉强　折詰辨當　御土産　鯛ゑくし　（電話六二九番）　團隊多數の注文績々有之候に付可成前以て御申込被下度候

明治足袋　廣島市塩屋町　三宅商會本店　長電話四三番

優良石鹸（ゆうれうせつけん）　花の都　マスト石鹸發賣元　東京 大阪　野村外吉商店

新刊書御案内

朝鮮風俗集 / 朝鮮より / 學校體操の原理及敎育法 / 伊勢神宮と我國體 / 英雄と怪傑（新劇） / 古今辭世集 / 平民文學講話 / 男女と貞操問題 / 野衛詩集 / 火の歌集 / セヴァストオポリ / 國芳集 / 感 / 銀笛 / 歌に入る迄 / 熱い血と冷い頭 / 批評の要訣 / 解說力學（下巻） / 採鑛學（下巻） / 日支交渉に依る帝國の利權 / 兩京去留誌

卸　小賣　大阪屋號書店　京城本町電話二〇八番　振替京城二五七二

阿波國共同汽船仁川出帆

第三共同丸　芝罘、大連行　十月　日後七時入港　十月　日前九時出港

第一阪鶴丸（元山出帆）　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　十月　日後九時出港

第三共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　十月　日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部　仁川代理店（電話二四七番）田口回漕部　京城取次店　河村運送店（電話二〇一・七）

汽船釜山出帆廣告

〇門司、神戸、大阪行　小倉丸　十月廿六日後五時出帆

〇元山城津浦鹽行　小倉丸　十月十四日後十時出帆

〇門司、神戸、大阪行　立神丸　十月十九日後五時出帆

〇元山、清津、浦鹽行　立神丸　十月廿八日後十時出帆

〇元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　十月廿二日後九時出帆

〇門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　十月十三日後六時出帆

〇佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　大貞丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆

本船取扱店　大池回漕部

日本郵船仁川出帆

〇大連太沽牛莊行　高砂丸　十月廿一日　正午出帆

三河丸　十月　日　正午出帆

横濱丸　十月三十日　正午出帆

〇青島直行（大連芝罘行）　江原丸　月　日　出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

〇群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　秀吉丸　十月　日後四時出帆　君が代丸　十月十一日後四時出帆　神代丸　十月十五日後四時出帆　大有丸　十月　日後五時出帆

〇群山、大阪行　第二太湖丸　土海丸　十月　日後四時出帆

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二・二〇三三番

鐵道局線、兆外船と商客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會願候

京城代理店　南大門驛前　松原運送店（電話二一七）

全羅丸　十月十五日　京畿丸　十月廿五日　黄海丸　十月　日　咸鏡丸　十月十九日　釜山發（門司より釜山各港寄港雄基間）

昌平丸　十月十日　元山發（元山より各港經由雄基行）

鏡城丸　十月十六日　元山發

忠清丸　十月廿四日　元山發（城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司）

竹清丸　十月十四日　元山發

永興丸　毎月廿八回　元山發（北久味、五里浦行　又は長崎延長）

嘉島丸　十月　日　釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港欝陵島行）

江陵丸　毎日　釜山・浦項發（長生浦、方魚津寄港）

三浦丸　十月十四日　釜山發（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行）

濟州丸　巨濟丸　慶寶丸　毎日　釜山發（統營）

順天丸　三日目毎　木浦發（各港經由麗水行（三日目一回木浦行））

廣興丸　十月十二日　木浦發（各港經由濟州島行）

公州丸　十月十三日　木浦發（南多島海列島行）

宗信丸　十月十三日　仁川發（海州他各港經由、鎭南浦行）

江原丸　十月十六日　仁川發（芝罘、大連、青島行）

麗水丸　十月十四日　仁川發

晋州丸　十月　日　仁川發

全南丸　咸陽丸　毎日午前　仁川發（江華、喬桐島、海州行）

平安丸　十月十六日　十月十三日　群山發　若松發（復航門司、大黒山、木浦、門司、若松行）

大阪商船仁川出帆

〇中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候

〇外航所國航路（遼津航路を除く）同連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

〇群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　××宮島丸　十月十九日　漳州丸　十月十一日　溫州丸　十月十五日　午後五時出帆

〇木浦、釜山、長崎行（▲は嚴原瀬戸浦に寄港）　××安東丸　十月九日　▲天智丸　十月十八日　午後二時出帆

〇鎭南浦、大連行　××安東丸　十月二十日　天智丸　十月十三日　午後二時出帆

〇〇鎭南浦、關門、神戸、大阪行　月　日　月　日　正午五時出帆

〇群山、釜山、橫濱行　△△千珠丸　十月　日　チヨイサン丸　十月廿一日　午後四時出帆

〇大連直行　△△千珠丸　十月廿七日　チヨイサン丸　十月十六日　正午出帆

〇元山、清津、浦潮行（釜山出帆）▲は城津西湖津に寄港油沙不寄港　地久丸　十月十七日　神宮丸　十月廿七日　▲城津丸　十月十二日　午後九時出帆

〇上海、基隆、打狗行（大連出帆）　基隆丸　十月廿九日　新高丸　十月十一日　午後四時出帆

御注意　〇朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候　〇乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候　〇×印は一等客御斷り　△印は船客御斷り

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番　二〇番　五五〇番

京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番